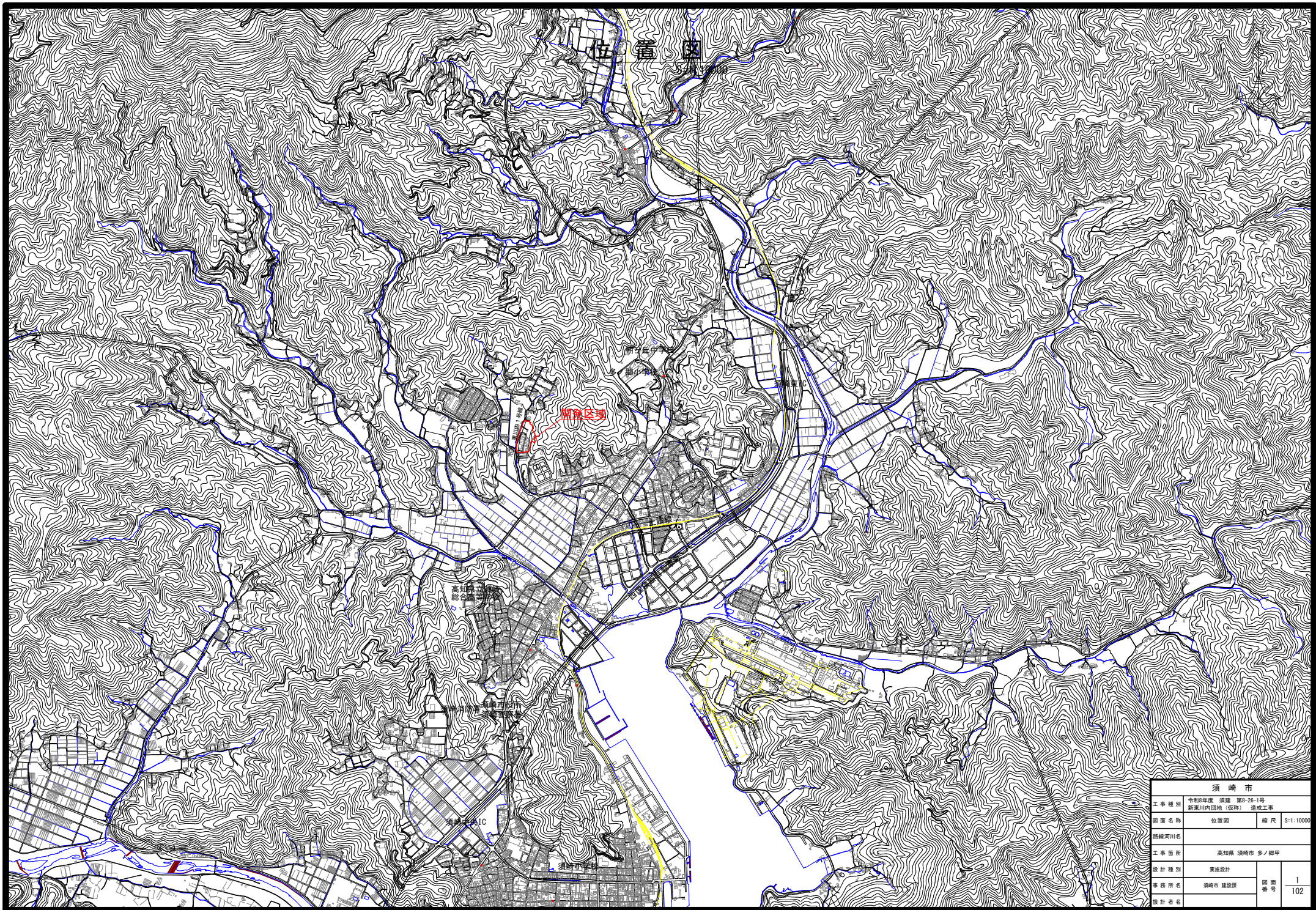


令和8年度 須建 第8-26-1号
新東川内団地（仮称） 造成工事
【設計図面】

図面目録

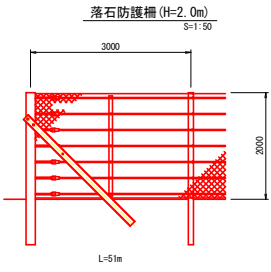
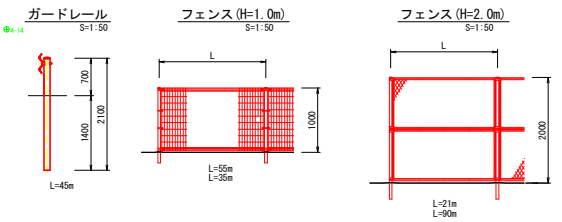
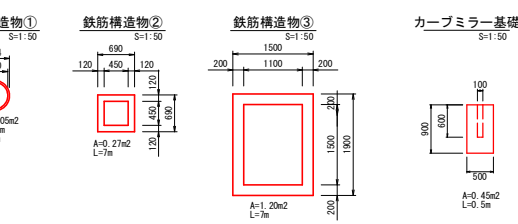
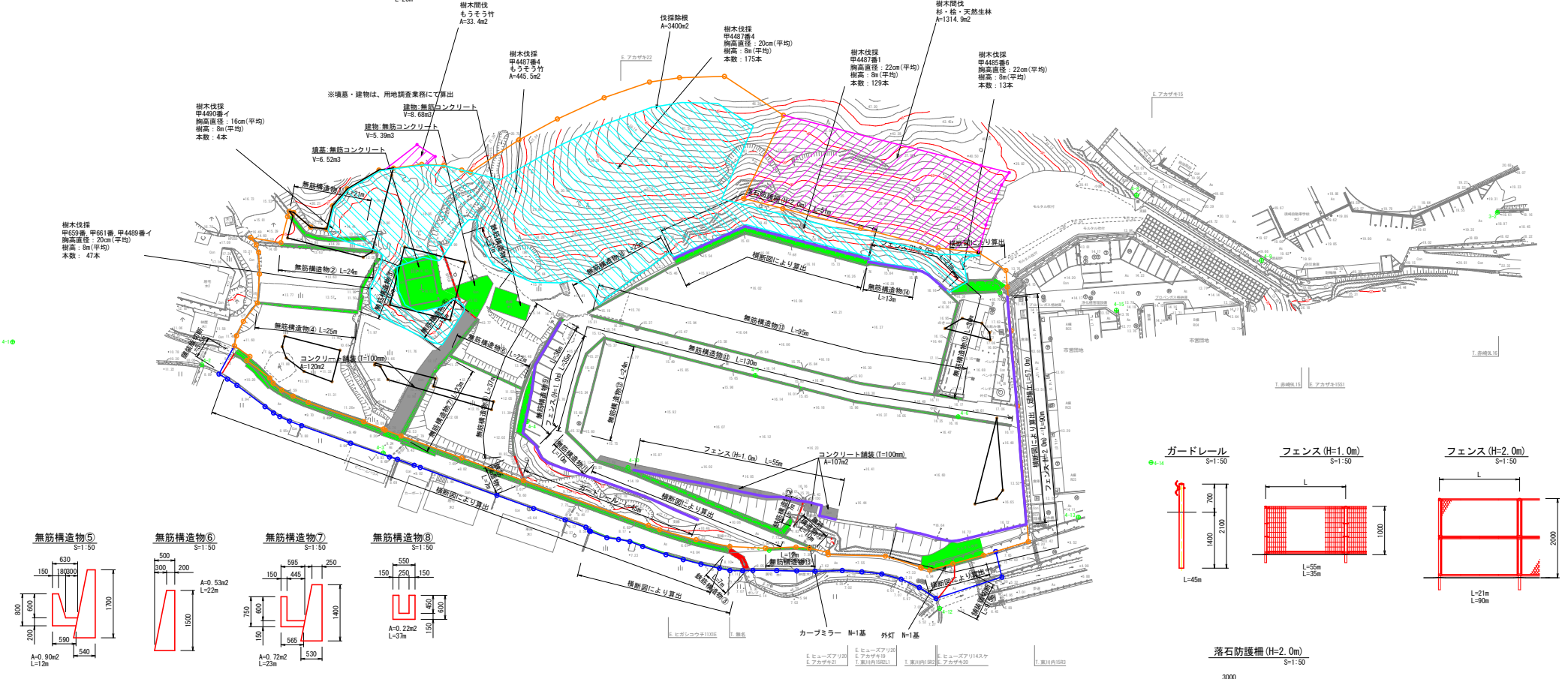
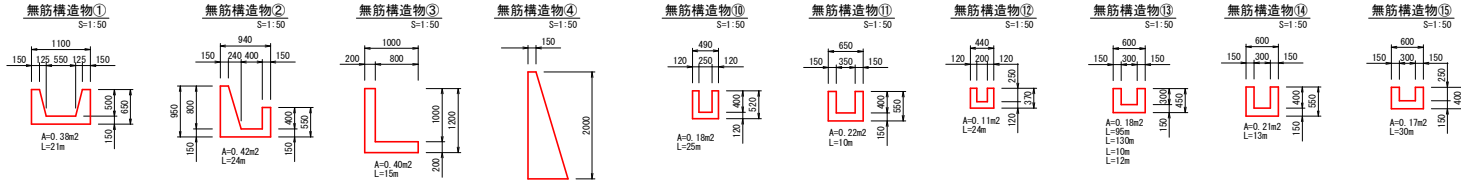
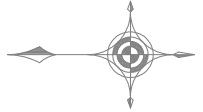
			計102枚
図面名称	図面番号		
位置図	1		
現況図	2		
取壊し・撤去平面図	3		
土地利用計画図	4		
造成計画平面図	5		
切盛図	6		
舗装工平面図	7		
標準断面図（敷地造成）	8		
土工図	9		
造成横断図	11		
造成縦断図	17		
標準断面図（既存道路）	18		
既存道路横断図	19		
道路縦断図	22		
擁壁工構造図	26		
擁壁工展開図	47		
施設構造図	52		
法枠工詳細図	54		
排水施設計画平面図	55		
排水施設構造図	56		
排水施設展開図	69		
緑地計画図	82		
防災計画図	83		
スロープ一般図	88		
給水施設計画平面図	89		
施工計画	90		
求積図	100		



須 崎 市			
工事種別	令和08年度「河川」第8-26-1号 新築川内留地（仮称）造成工事		
図面名称	位置図	縮尺	S=1:10000
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ郷甲		
設計種別	実施設計		
事務所名	須崎市 建設課	図面 番号	1 102
設計者名			

取壊し・撤去平面図

S=1:500

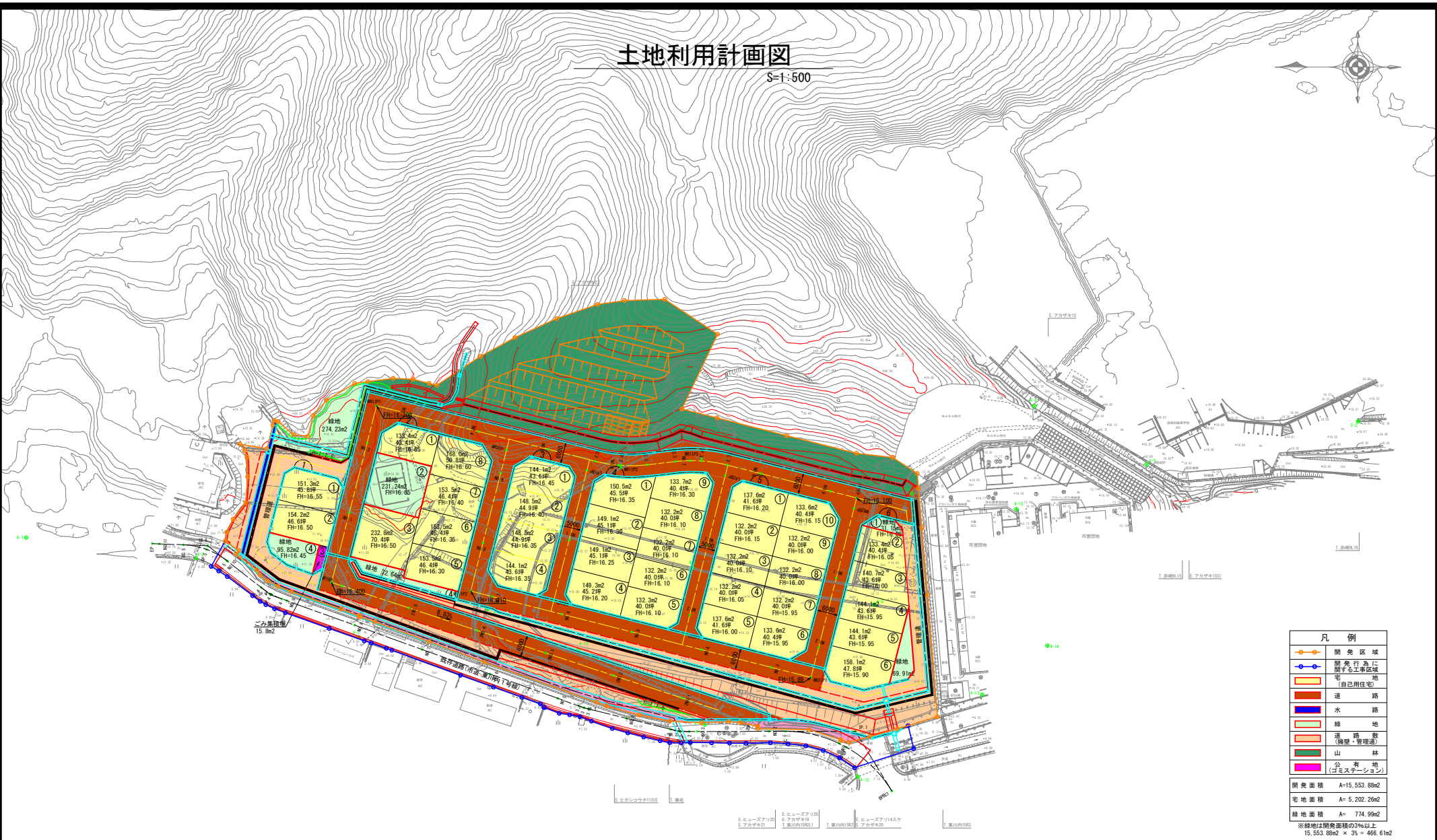


凡例	
■	鉄筋構造物
■	無筋構造物
■	コンクリート舗装
■	樹木伐採
■	防護柵

須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地 (仮称) 造成工事	縮尺	S=1:500
図面名称	取壊し・撤去平面図		
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ銀甲		
設計種別	実施設計	図面番号	3 / 102
事務所名	須崎市 建設課	設計者名	

土地利用計画図

S=1:500



	開発区域
	開発行為に 関する工事区域
	宅地 (自己用住宅)
	道
	水路
	緑地
	道路敷 (掘削・管理道)
	山林
	公用地 (ボミステーション)

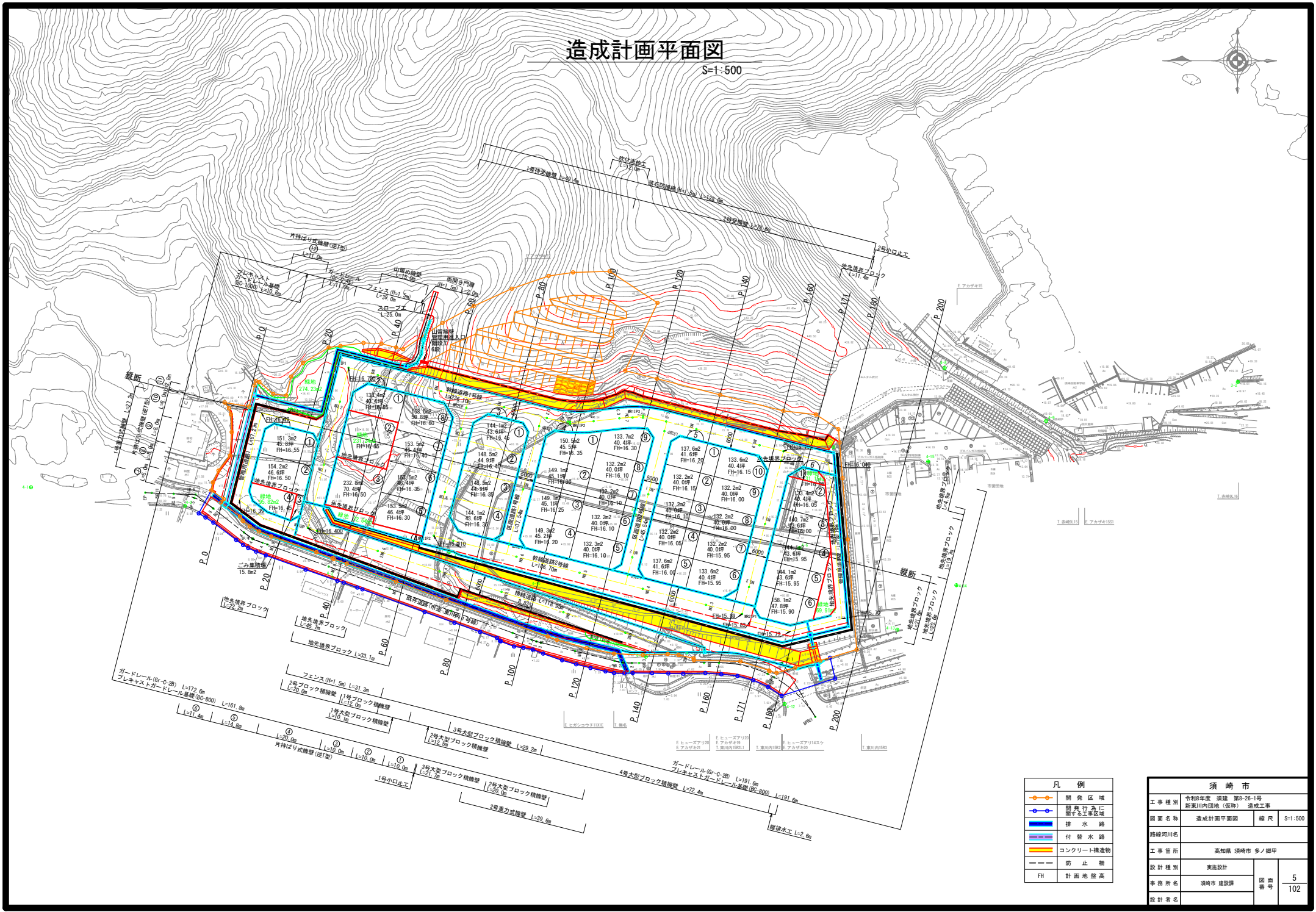
開発面積	A=15,553.88m ²
宅地面積	A=5,202.26m ²
緑地面積	A=774.99m ²

※緑地は開発面積の3%以上
15,553.88m² × 3% = 466.61m²

須崎市	
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新築川内留地（仮称）造成工事
図面名称	土地利用計画図 縮尺 S=1:500
路線河川名	
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲
設計種別	実施設計
事務所名	須崎市 建設課
設計者名	
図面番号	4 102

造成計画平面図

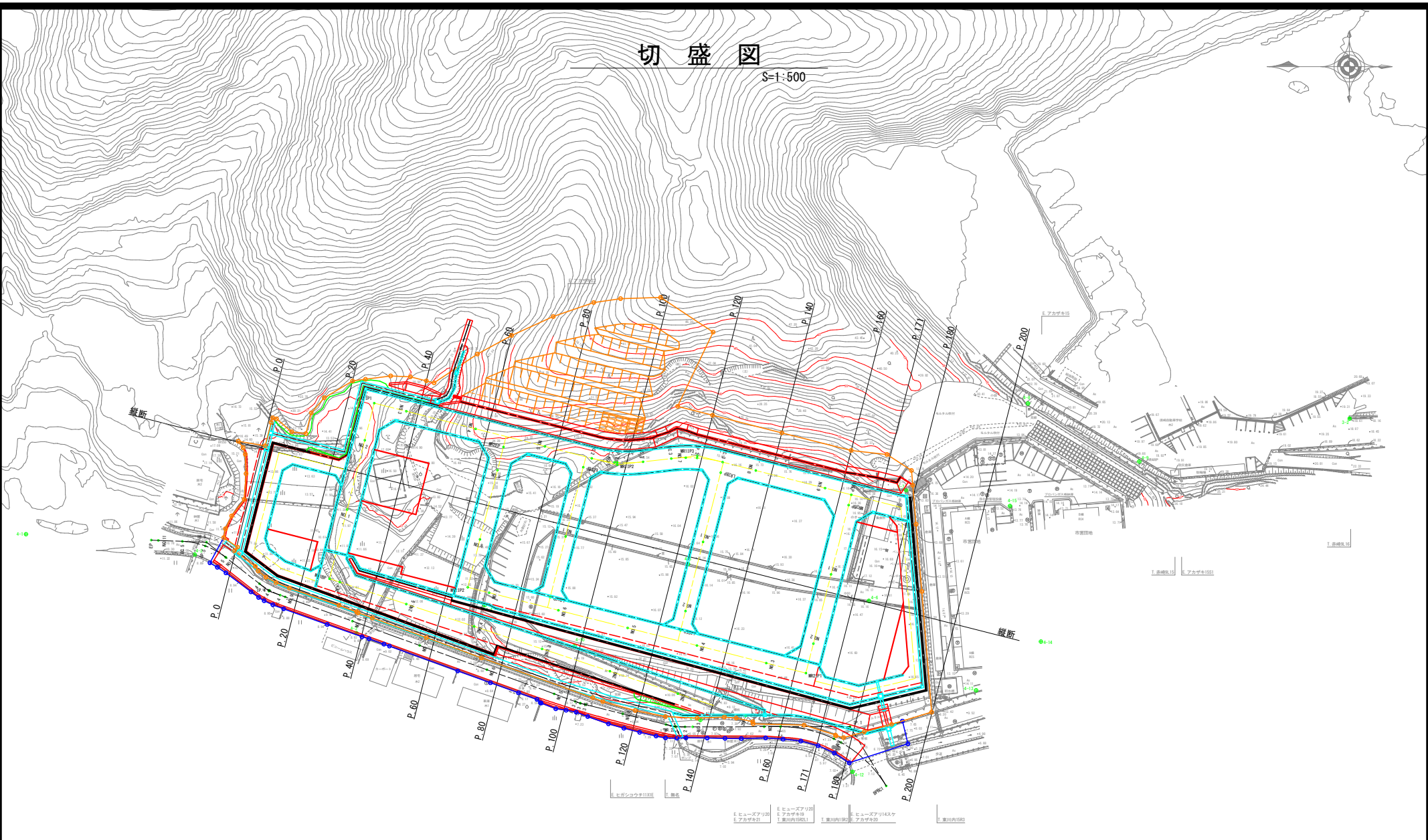
S-1:500



須崎市	
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事
図面名称	造成計画平面図 縮尺 S-1:500
路線河川名	
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲
設計種別	実施設計
事務所名	須崎市 建設課
設計者名	
図面番号	5
	102

切盛図

S=1:500

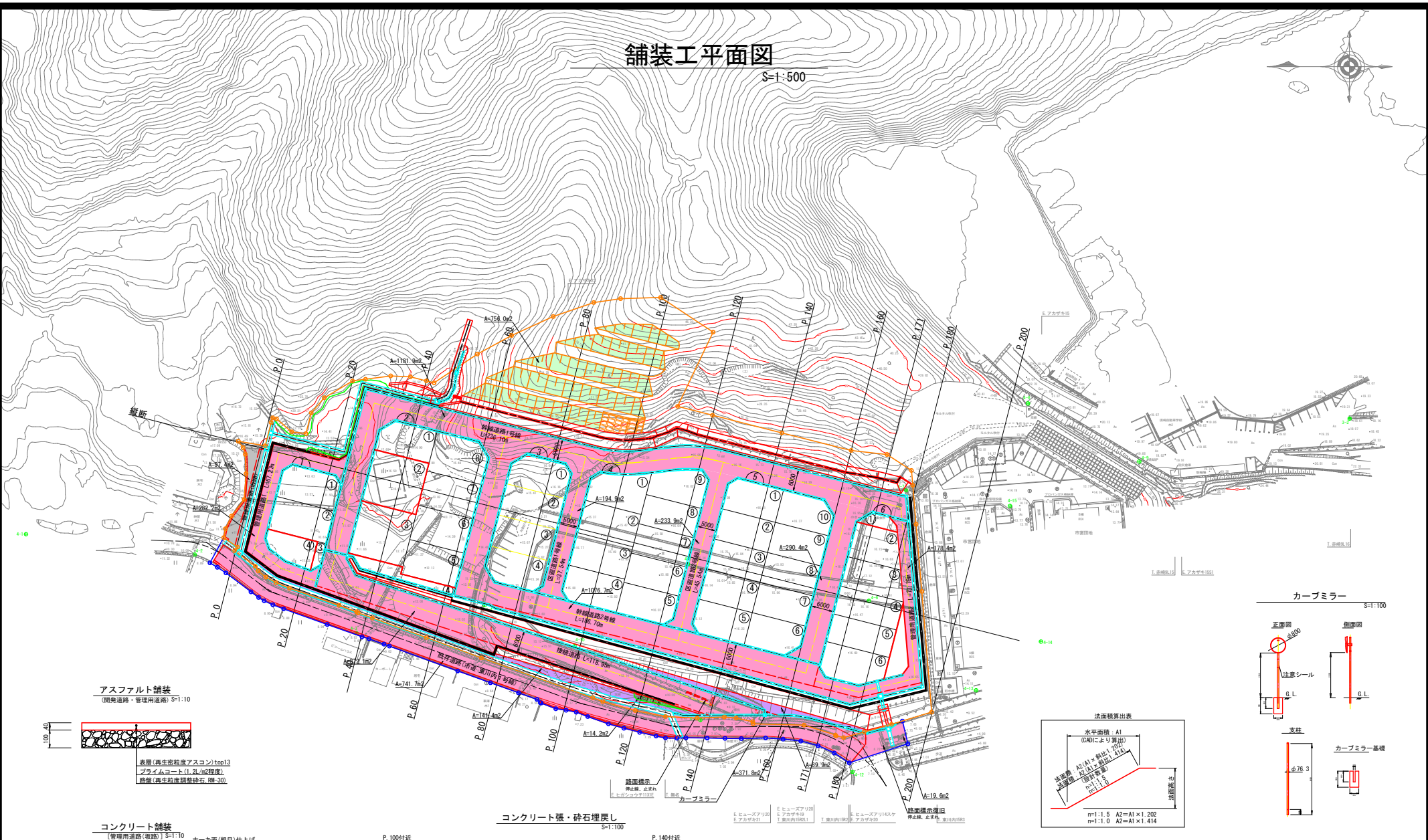


凡 例	
	切 土
	盛 土
	開 発 区 域
	開 発 行 為 に 関 する 工 事 区 域

須 崎 市			
工 事 種 別	令和8年度 須 崎 第8-26-1号 新 東 川 内 留 地 (仮 称) 造 成 工 事		
図 面 名 称	切 盛 図	縮 尺	S=1:500
路 線 河 川 名			
工 事 箇 所	高 知 県 須 崎 市 多ノ銀 甲		
設 計 種 別	実 施 設 計		
事 務 所 名	須 崎 市 建 設 課	図 面 番 号	6 102
設 計 者 名			

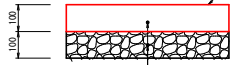
舗装工平面図

S=1:500



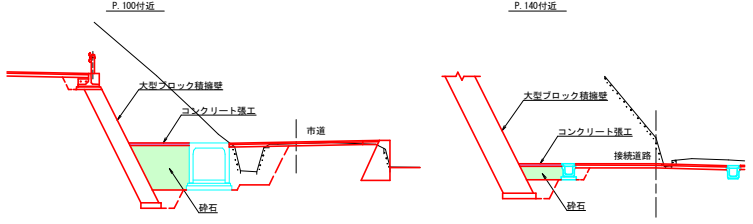
表層(再生密度度アスコ)top13
プライムコート(L2L/m2程度)
路床(再生粒度調整砕石 RM-30)

コンクリート舗装
[管理用道路(仮路)] S=1:10



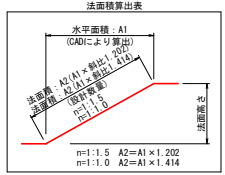
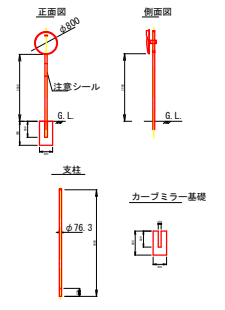
コンクリート(18-8-25)
路床(再生砕石 RM-30)

コンクリート張・砕石埋戻し
S=1:100



※接壁と側溝間の距離距離が大きい区間は、砕石で埋戻し、表層を厚さ100mmのコンクリート張とする。

カーブミラー
S=1:100



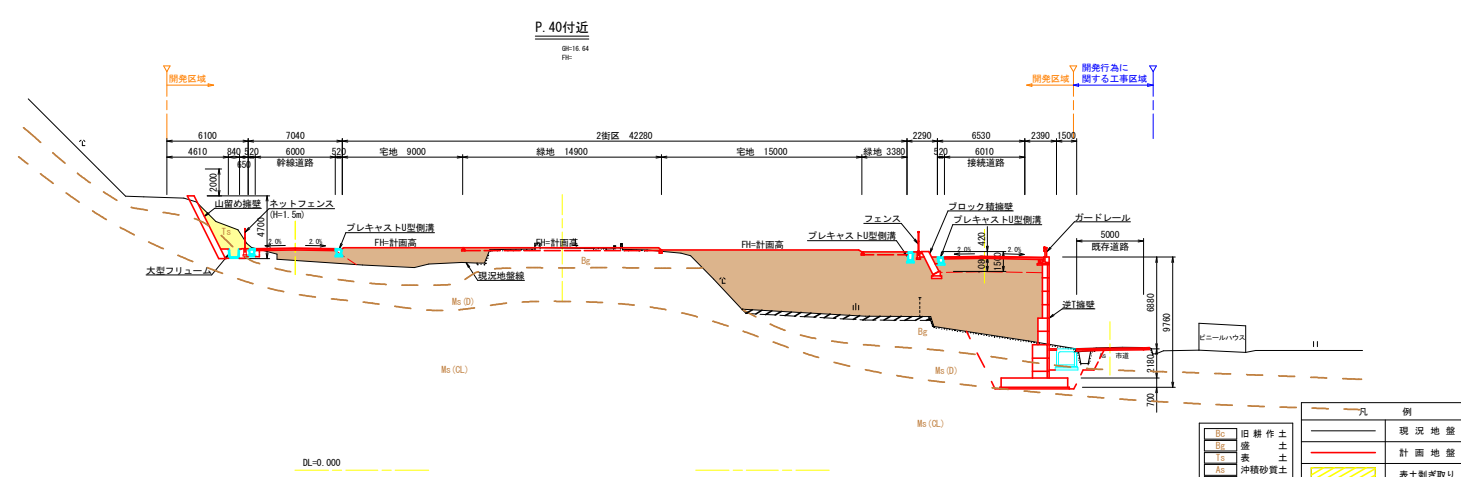
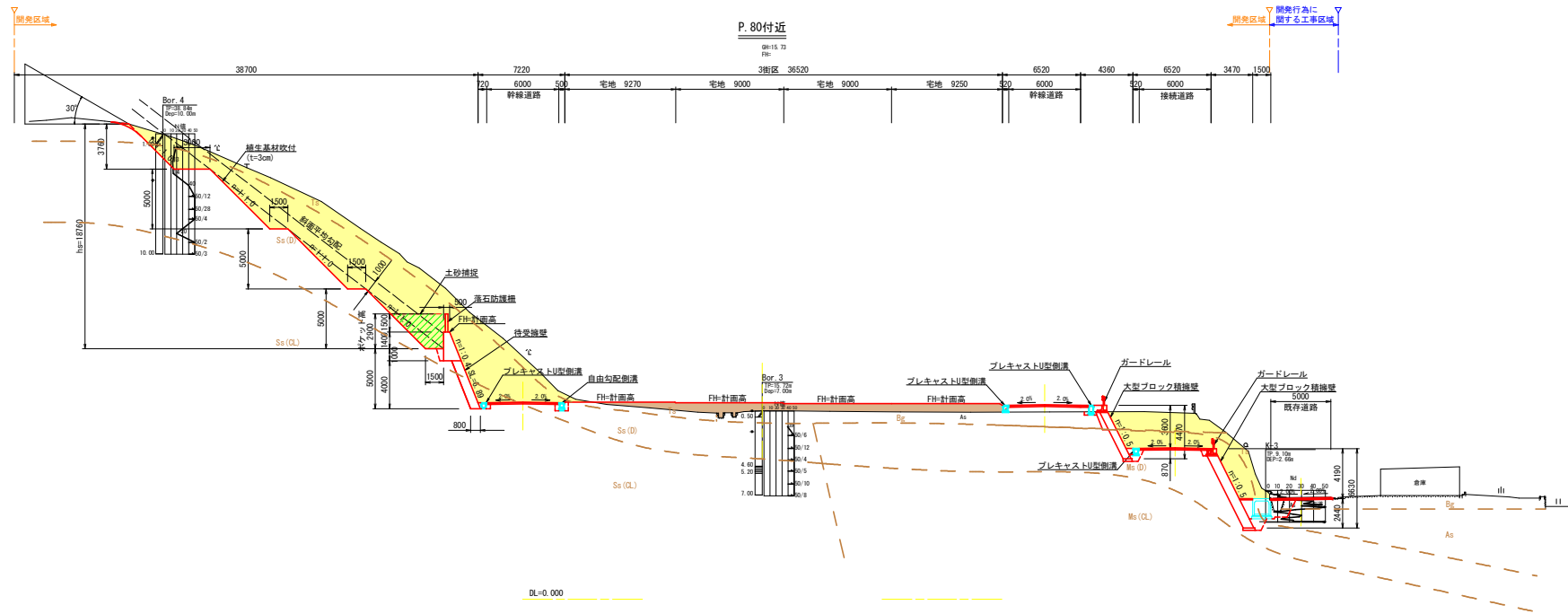
種別	凡例	規格	面積
アスファルト舗装(開発道路)		舗装構造: 50-100mm	5377.0m ²
コンクリート舗装(管理用道路(仮路))		舗装構造: 100-150mm	97.4m ²
養生工(養生基材付付)		法面積(A2=A1 × 1.414), t=3cm	1067.0m ²
防凍コンクリート(t=50mm)		法面積(A2=A1 × 1.202)	17.1m ²
コンクリート張工(t=100mm)		18-8-25	231.3m ²

※面積はCADにより算出
※養生基材付付工、現況状況に応じて調整する

須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	S=1:500
図面名称	舗装工平面図	縮尺	S=1:500
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ銀甲		
設計種別	実施設計		
事務所名	須崎市 建設課	図面番号	7 102
設計者名			

標準断面図

(敷地造成) S=1:200

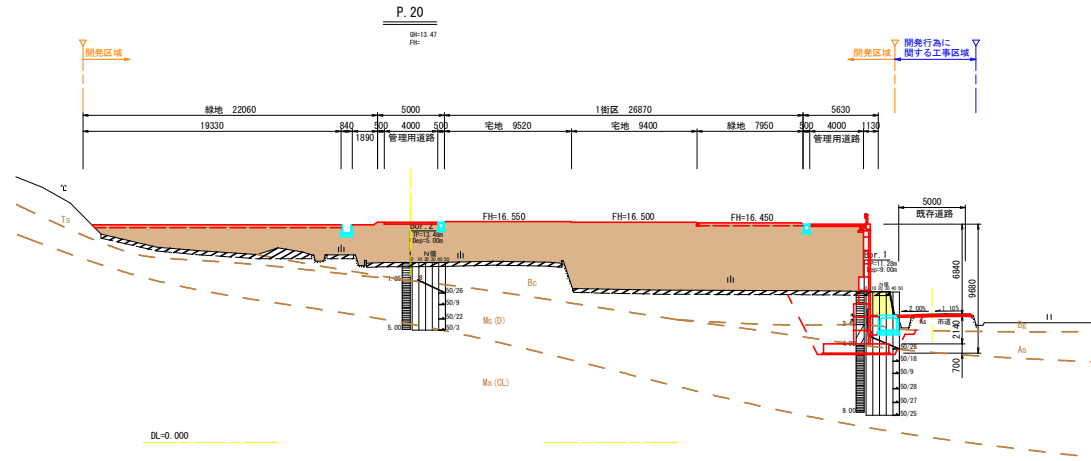


凡例	
Bc	旧耕作土
Sp	盛土
Es	表土
As	沖積砂質土
Ms (D)	強風化凝岩
Ms (CL)	強風化砂岩
Ms (CL)	風化凝岩
Ss (CL)	風化砂岩
(Symbol)	現況地盤
(Symbol)	計画地盤
(Symbol)	切土
(Symbol)	盛土

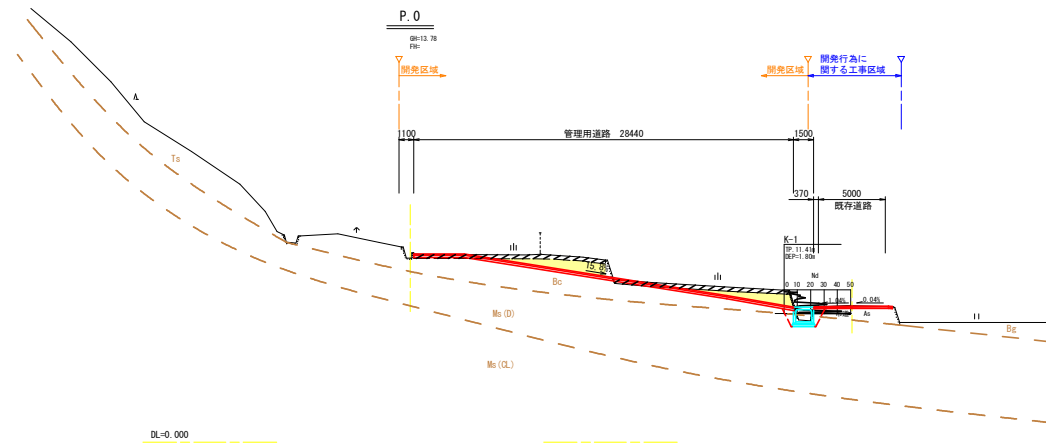
須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(敷移) 造成工事		
図面名称	標準断面図(敷地造成)	縮尺	S=1:200
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ銀甲		
設計種別	実施設計	図面番号	8
事務所名	須崎市 建設課	設計番号	102

造成横断図 (1/6)

S=1:200



盛土	路床	切土	片切掘削	94KH	0.5
	1			96KH	
	2				
	3				
	5	212.7	才掘	94K	
	6		才掘	96K	
	7		才掘	96K	17.9
			指床掘削	14K	26.1
			指床掘削	16K	4.8
	B4-A	8.6	床均し	T	
	B4-B			N23K	
	B4-C	9.9	切土整形	N4K	
	B4-D	1.1		NGK	
	B4		剥取り	ASV	4.3
	Con		取壊し	COB	1.2
	砕石	0.8			



盛土	路床	切土	片切掘削	94KH	0.6
	1			96KH	
	2				
	3				
	5	0.8	才掘	94K	13.0
	6		才掘	96K	
	7		才掘	96K	8.2
			指床掘削	14K	0.6
			指床掘削	16K	1.3
	B4-A		床均し	T	1.7
	B4-B			N23K	
	B4-C		切土整形	N4K	
	B4-D	1.3		NGK	
	B4		剥取り	ASV	5.0
	Con		取壊し	COB	0.6
	砕石				

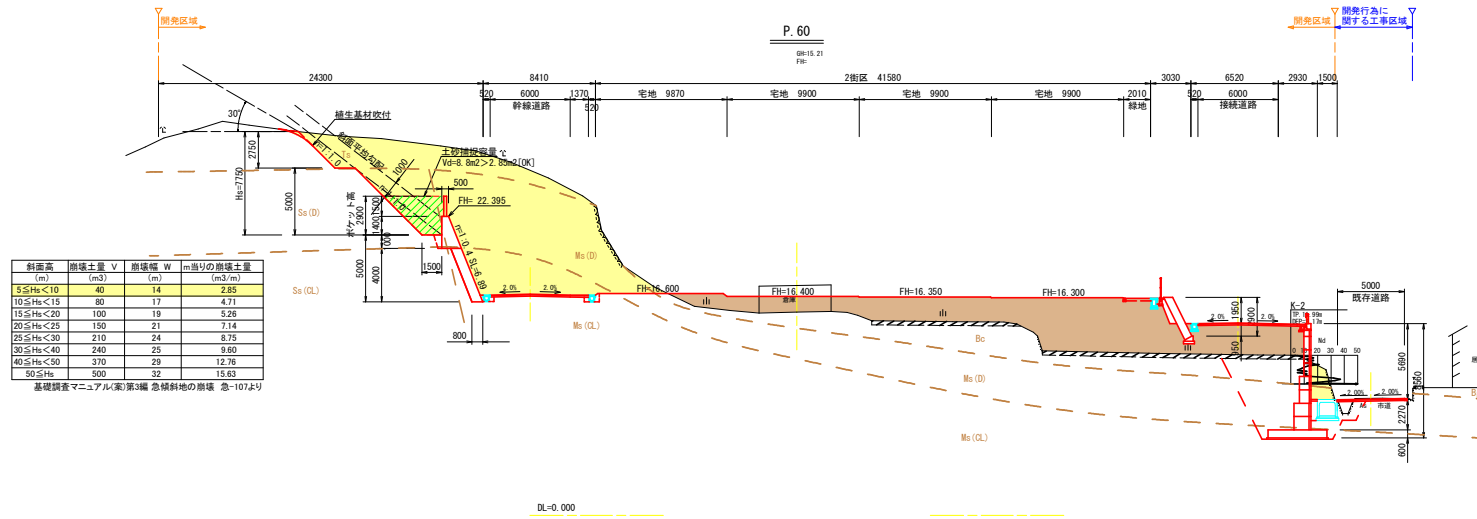
Bc	旧耕作土
FC	腐葉土
LE	表土
As	沖積砂質土
Ms (D)	強風化泥岩
Ss (D)	強風化砂岩
Mn (D)	風化泥岩
Ss (D)	風化砂岩

—	現況地盤
—	計画地盤
▨	表土剥ぎ取り
■	切土
■	盛土

須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	S=1:200
図面名称	造成横断図 (1/6)	縮尺	S=1:200
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ郷甲		
設計種別	実施設計	図面番号	11
事務所名	須崎市 建設課	設計番号	102
設計者名			

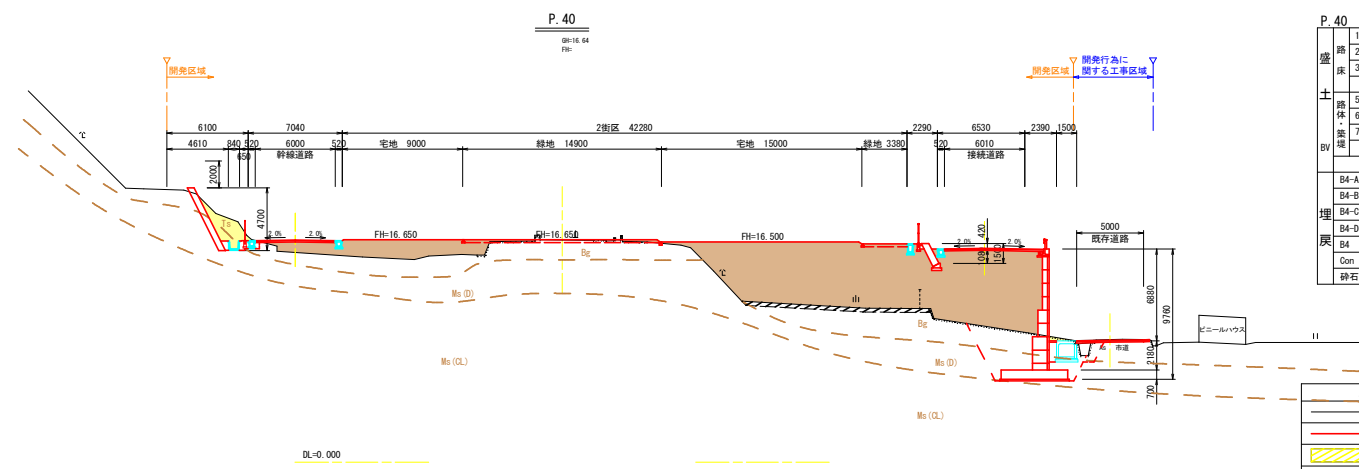
造成横断図 (2/6)

S=1:200



P.60

盛土	1	8.1	切	片切崩削	94KH	0.5
	2			96KH		
	3			94K	38.5	
	5	103.2		96K	119.4	
	6			96K	9.0	
	7			埋戻し	14K	12.9
	7			埋戻し	16K	26.2
埋戻	B4-A	17.0	床均し	T		
	B4-B			N23K		
	B4-C	10.5	切土整形	N4K	5.3	
	B4-D	1.8		N6K	7.1	
	B4		削取り	ASV	3.9	
砕石	0.7	取壊し	CDB	4.5		



P.40

盛土	1	12.1	切	片切崩削	94KH	5.3
	2			96KH	1.8	
	3			94K		
	5	135.7		96K	4.2	
	6			96K	4.2	
	7			埋戻し	14K	13.4
	7			埋戻し	16K	14.3
埋戻	B4-A	6.1	床均し	T	0.6	
	B4-B			N23K		
	B4-C	9.6	切土整形	N4K		
	B4-D	1.9		N6K		
	B4		削取り	ASV	4.1	
砕石	0.8	取壊し	CDB	1.4		

Bc	旧耕作土
16	表土
As	沖積砂質土
Ms(D)	強風化泥岩
Ss(D)	強風化砂岩
Ms(CL)	風化泥岩
Ss(CL)	風化砂岩

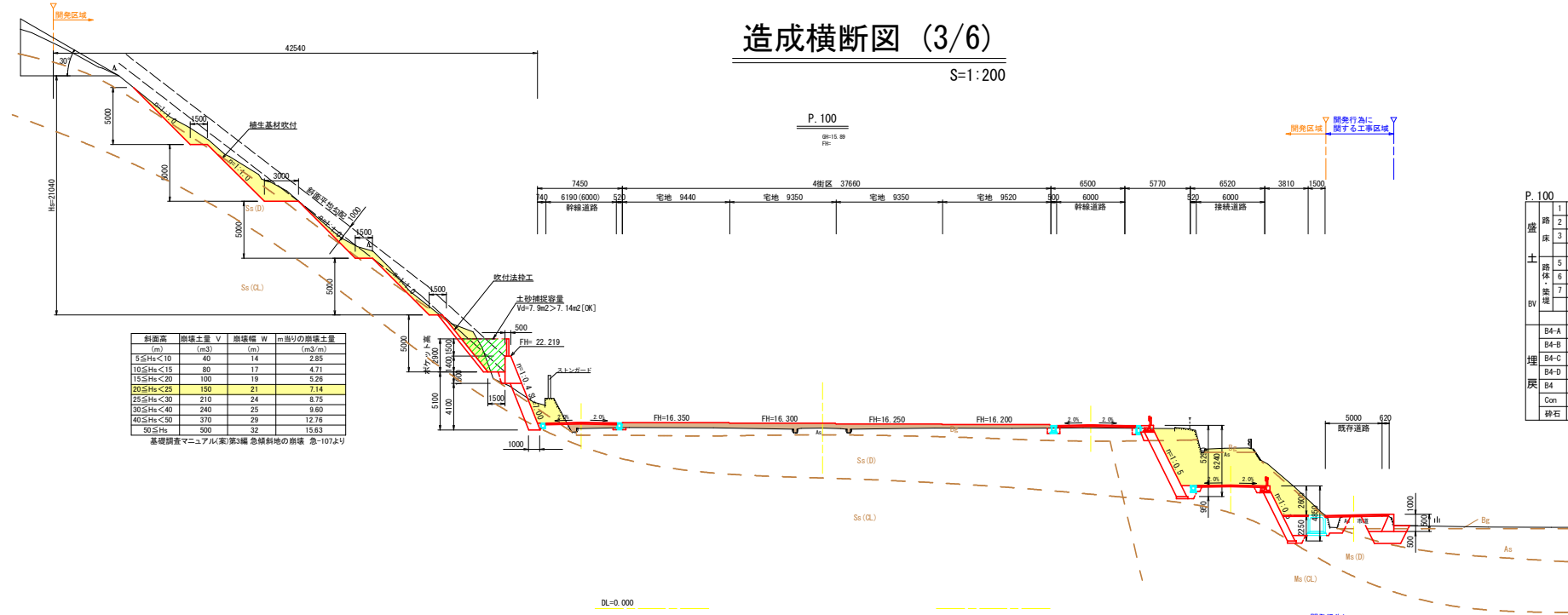
凡例

—	現況地盤
—	計画地盤
▨	表土削ぎ取り
■	切土
■	盛土

須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	S=1:200
図面名称	造成横断図 (2/6)	縮尺	S=1:200
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計	図面番号	12
事務所名	須崎市 建設課	図面番号	102
設計者名			

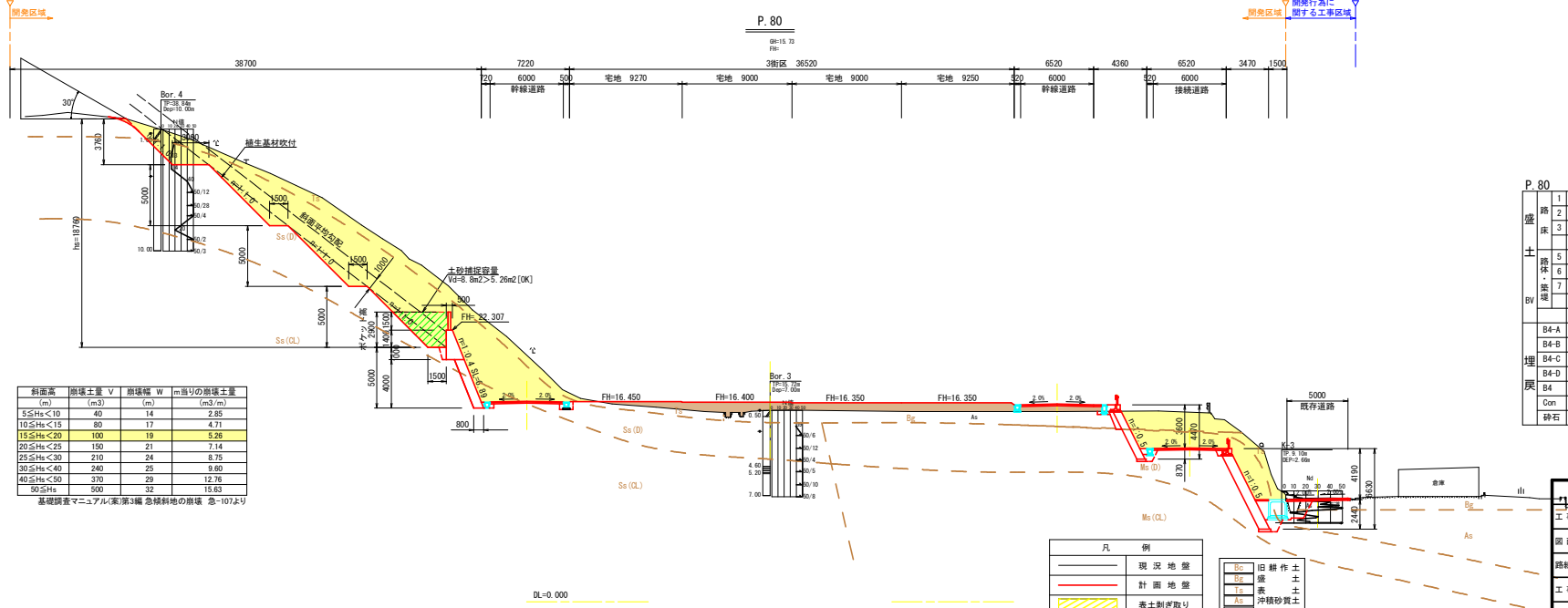
造成横断図 (3/6)

S=1:200



P. 100

盛土	1	5.4	片切盛土	94KH	21.2
	2			96KH	29.0
	3			94K	0.7
	5	16.9	オゾン	96K	26.7
	6			96K	26.7
	7			96K	26.7
	埋戻	B4-A		床均し	T
B4-B				N23K	
戻	B4-C	6.3	切土整形	N4K	15.6
	B4-D	1.9		N6K	19.1
	B4			ASV	11.9
	Con	0.7	制取り	COB	9.1
	砕石	3.0	取壊し		



P. 80

盛土	1	3.2	片切盛土	94KH	12.9
	2			96KH	20.3
	3			94K	40.9
	5	23.8	オゾン	96K	119.1
	6			96K	119.1
	7			96K	119.1
	埋戻	B4-A		床均し	T
B4-B				N23K	
戻	B4-C	3.0	切土整形	N4K	3.8
	B4-D	2.1		N6K	24.2
	B4			ASV	42.1
	Con	0.7	制取り	COB	1.2
	砕石	1.1	取壊し		

凡例

——	現況地盤	BC	旧耕作土
——	計画地盤	Sp	盛土
——	表土削き取り	Te	表土
——	切土	As	冲積砂質土
——	盛土	Br(D)	凝結化泥岩
——		Ss(D)	強酸化砂岩
——		Ms(D)	風化泥岩
——		Ss(CL)	風化泥岩
——		Ss(C)	風化砂岩

須崎市

令和8年度 須建 第8-26-1号
 新東川内留地(仮称) 造成工事

図面名称 造成横断図 (3/6) 縮尺 S=1:200

路線河川名

工事箇所 高知県 須崎市 多ノ根甲

設計種別 実施設計

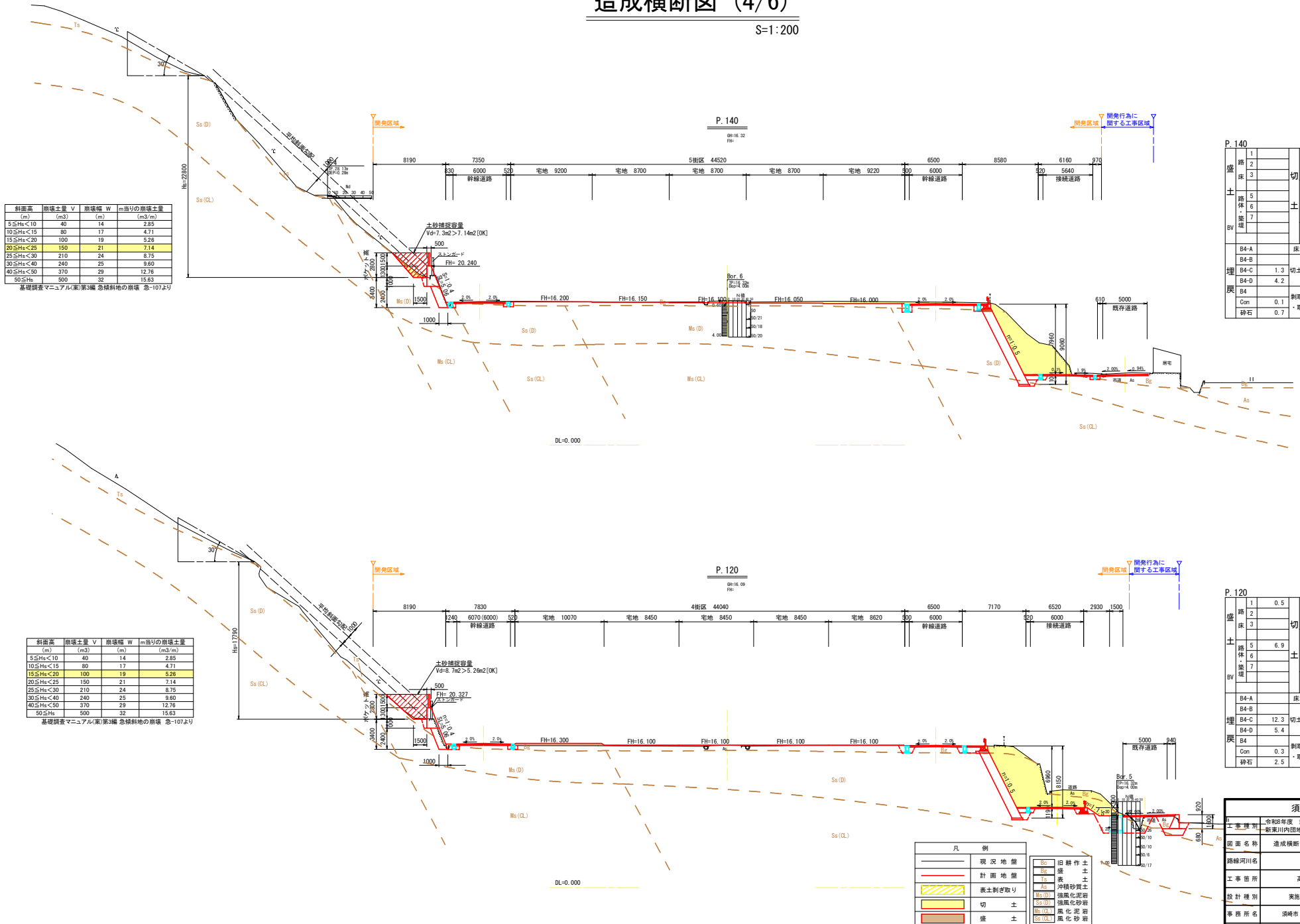
事務所名 須崎市 建設課

設計者名

図面番号 13
102

造成横断図 (4/6)

S=1:200



斜面高 (m)	崩壊土量 V (m ³)	崩壊幅 W (m)	m当りの崩壊土量 (m ³ /m)
5 ≤ Hs < 10	40	14	2.85
10 ≤ Hs < 15	80	17	4.71
15 ≤ Hs < 20	100	19	5.26
20 ≤ Hs < 25	150	21	7.14
25 ≤ Hs < 30	210	24	8.75
30 ≤ Hs < 40	240	25	9.60
40 ≤ Hs < 50	370	29	12.78
50 ≤ Hs	500	32	15.63

基礎調査マニュアル(案)第3編 急傾斜地の崩壊 急-107より

斜面高 (m)	崩壊土量 V (m ³)	崩壊幅 W (m)	m当りの崩壊土量 (m ³ /m)
5 ≤ Hs < 10	40	14	2.85
10 ≤ Hs < 15	80	17	4.71
15 ≤ Hs < 20	100	19	5.26
20 ≤ Hs < 25	150	21	7.14
25 ≤ Hs < 30	210	24	8.75
30 ≤ Hs < 40	240	25	9.60
40 ≤ Hs < 50	370	29	12.78
50 ≤ Hs	500	32	15.63

基礎調査マニュアル(案)第3編 急傾斜地の崩壊 急-107より

盛土	層	厚	材料	単価	数量	計量
土	1	0.5	片切土	94KH	4.8	
	2		切	96KH	14.4	
	3		切	94K	9.0	
	5	6.9	オゾン土	96K	22.2	
	6		オゾン土	14K	1.3	
	7		オゾン土	16K	4.4	
	埋	B4-A		床均し	T	
	B4-B			N23K		
	B4-C	1.3	切土整形	N4K		
	B4-D	4.2		N6K	3.7	
	B4			ASV	11.9	
	Con	0.1	削取り	COB	6.7	
		0.7	取壊し	COB		
			砕石			

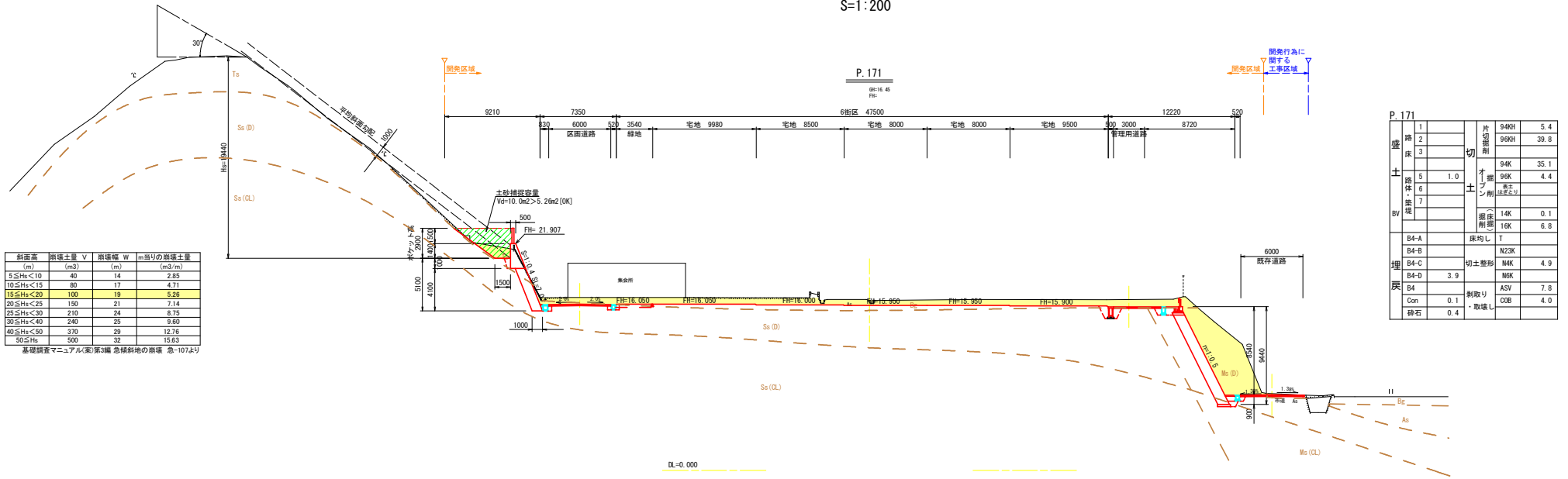
盛土	層	厚	材料	単価	数量	計量
土	1	0.5	片切土	94KH	1.0	
	2		切	96KH	9.3	
	3		切	94K	10.2	
	5	6.9	オゾン土	96K	31.7	
	6		オゾン土	14K	8.5	
	7		オゾン土	16K	12.0	
	埋	B4-A		床均し	T	1.7
	B4-B			N23K		
	B4-C	12.3	切土整形	N4K	8.6	
	B4-D	5.4		N6K		
	B4			ASV	11.6	
	Con	0.3	削取り	COB	10.0	
		2.5	取壊し	COB		
			砕石			

——	現況地盤	BC	旧耕作土
——	計画地盤	TS	表土
——	表土削ぎ取り	Ms(D)	強風化泥岩
——	沖積砂質土	Ss(D)	強風化砂岩
——	切土	Ms(L)	風化泥岩
——	盛土	Ss(L)	風化砂岩

須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	S=1:200
図面名称	造成横断図 (4/6)	縮尺	S=1:200
路線河川名	高知県 須崎市 多ノ御甲		
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ御甲		
設計種別	実施設計	図面番号	14
事務所名	須崎市 建設課	図面番号	102
設計者名			

造成横断図 (5/6)

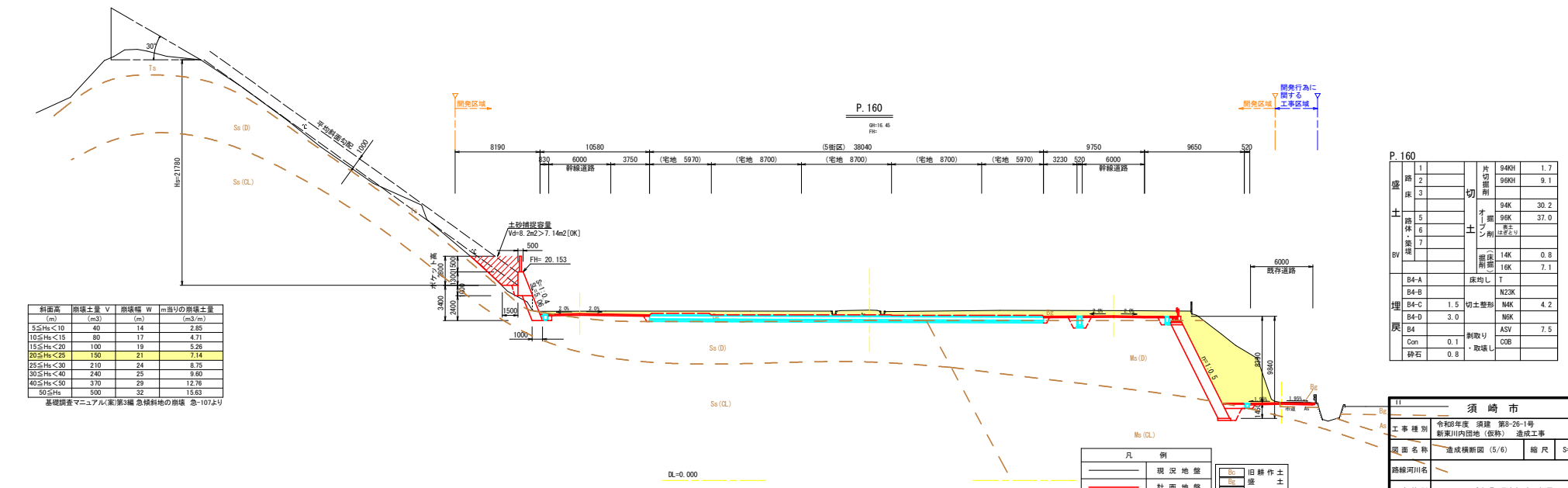
S=1:200



斜面高 (m)	崩壊土量 V (m³)	崩壊幅 W (m)	m当りの崩壊土量 (m³/m)
5 ≤ Hs < 10	40	14	2.85
10 ≤ Hs < 15	80	17	4.71
15 ≤ Hs < 20	100	19	5.26
20 ≤ Hs < 25	150	21	7.14
25 ≤ Hs < 30	210	24	8.75
30 ≤ Hs < 40	240	25	9.60
40 ≤ Hs < 50	370	29	12.76
50 ≤ Hs	500	32	15.63

基礎調査マニュアル(案)第3編 急傾斜地の崩壊 急-107より

盛土床	土	層	厚	切	削	土	P.171	
							94KH	5.4
1							94KH	5.4
2							96KH	39.8
3							94K	35.1
5	1.0						96K	4.4
6							14K	0.1
7							16K	6.8
B4-A							床均し	T
B4-B							N23K	
B4-C							N4K	4.9
B4-D	3.9						N6K	
Com	0.1						ASV	7.8
砕石	0.4						COB	4.0



斜面高 (m)	崩壊土量 V (m³)	崩壊幅 W (m)	m当りの崩壊土量 (m³/m)
5 ≤ Hs < 10	40	14	2.85
10 ≤ Hs < 15	80	17	4.71
15 ≤ Hs < 20	100	19	5.26
20 ≤ Hs < 25	150	21	7.14
25 ≤ Hs < 30	210	24	8.75
30 ≤ Hs < 40	240	25	9.60
40 ≤ Hs < 50	370	29	12.76
50 ≤ Hs	500	32	15.63

基礎調査マニュアル(案)第3編 急傾斜地の崩壊 急-107より

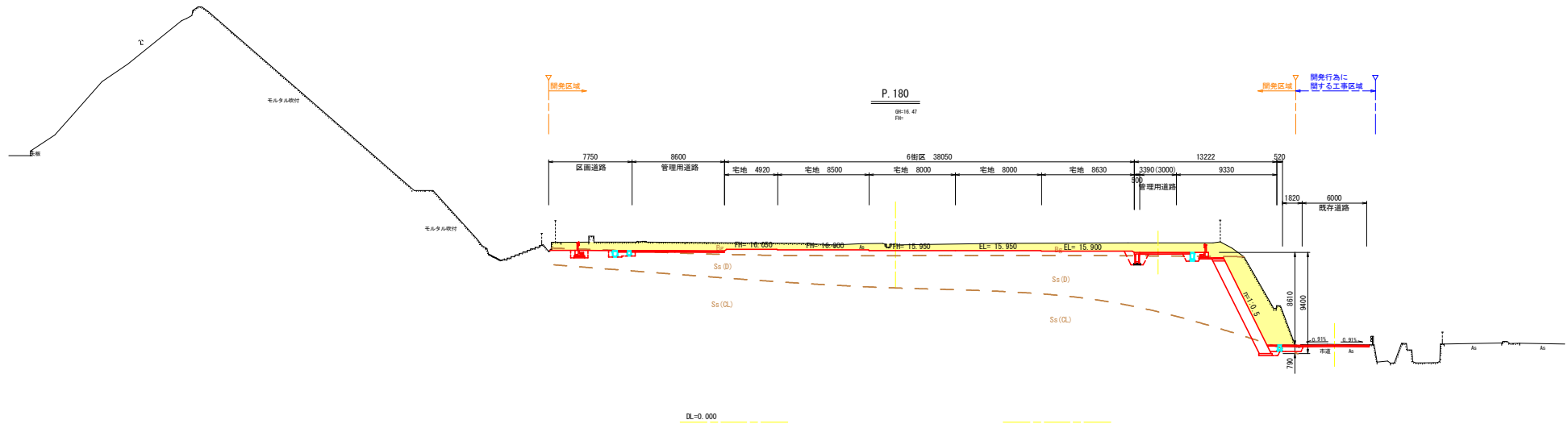
盛土床	土	層	厚	切	削	土	P.160	
							94KH	1.7
1							94KH	1.7
2							96KH	9.1
3							94K	30.2
5							96K	37.0
6							14K	0.8
7							16K	7.1
B4-A							床均し	T
B4-B							N23K	
B4-C	1.5						N4K	4.2
B4-D	3.0						N6K	
B4							ASV	7.5
Com	0.1						COB	
砕石	0.8							

凡	例
——	旧耕作土
——	表土
——	沖積砂質土
——	堆積砂質土
——	強風化砂岩
——	強風化砂岩
——	風化凝結岩
——	風化凝結岩
——	風化砂岩
——	風化砂岩

須崎市	
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事
図面名称	造成横断図(5/6) 縮尺 S=1:200
路線河川名	
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ御甲
設計種別	実施設計
事務所名	須崎市 建設課
設計者名	
図面番号	15-102

造成横断図 (6/6)

S=1:200



P. 180					
盛床土	1	片切掘削	94KH	1.0	
	2		96KH	26.5	
	3		94K	44.2	
	5	オゾン	96K	1.9	
	6		94K	0.5	
	7	16K	4.2		
	埋戻	B4-A	床均し	T	
B4-B			N23A		
B4-C		0.8	切土整形	N4K	
B4-D		2.5		N6K	
B4			削取り	ASV	10.9
Com		削取り	COB	5.5	
展	砕石	0.4	取壊し		

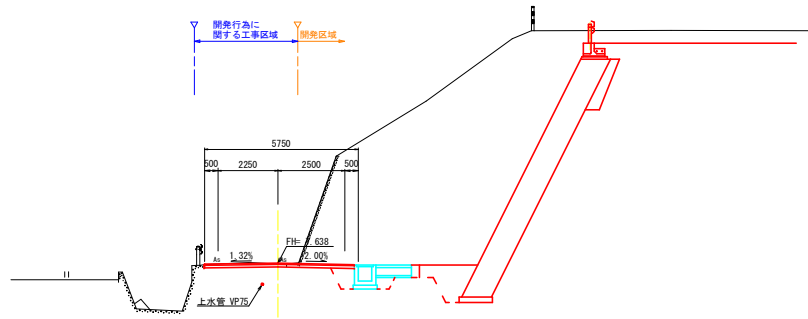
凡例	
	現況地盤
	計画地盤
	表土削ぎ取り
	切土
	盛土
	Bc 旧耕作土
	Sl 壤土
	Is 表土
	As 沖積砂質土
	Bs (D) 強風化砂岩
	Bs (M) 中風化砂岩
	Bs (L) 弱風化砂岩
	Bs (G) 風化砂岩
	Bs (C) 風化砂岩

須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新築川内留地（仮称）造成工事	縮尺	S=1:200
図面名称	造成横断図 (6/6)	縮尺	S=1:200
路線河川名	高知県 須崎市 多ノ郷甲		
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ郷甲		
設計種別	実施設計		
事務所名	須崎市 建設課	図面番号	16 102
設計者名			

既存道路横断図(1/3)

S=1:100

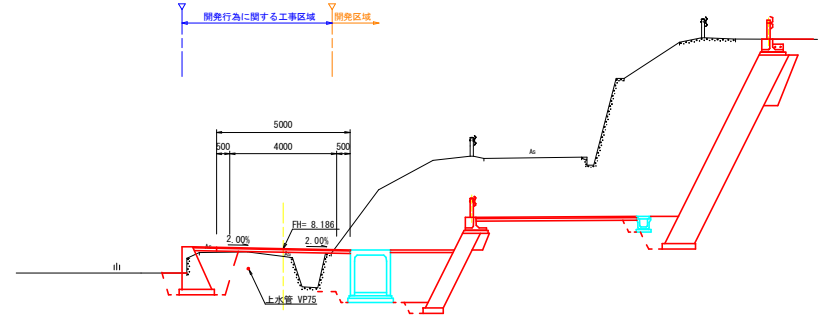
NO. 2
GH=7.61
FH=7.638



※上水管は施工前または施工に合わせ別工事で支障とならない位置へ敷設替えを予定している。。

DL=0.000

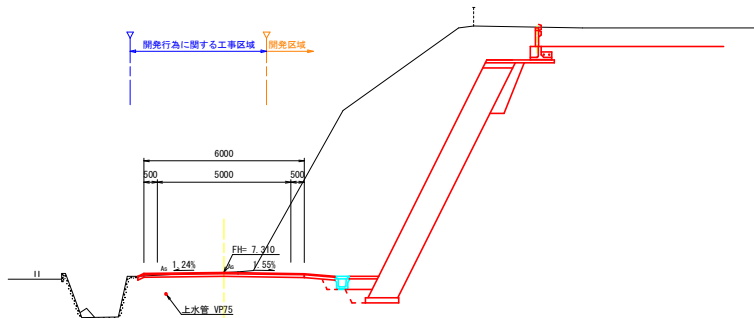
NO. 4
GH=7.89
FH=8.186



※上水管は施工前または施工に合わせ別工事で支障とならない位置へ敷設替えを予定している。。

DL=0.000

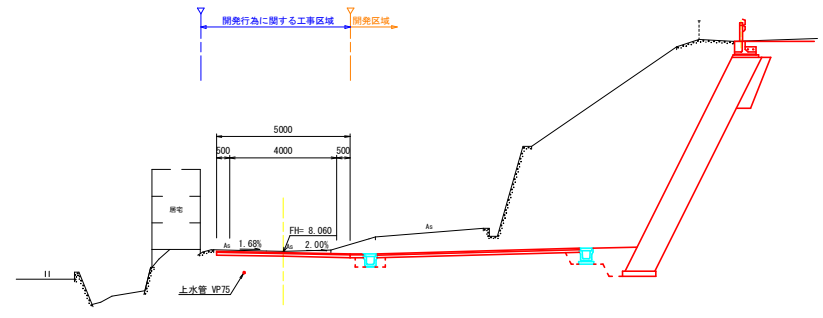
NO. 1
GH=7.31
FH=7.310



※上水管は施工前または施工に合わせ別工事で支障とならない位置へ敷設替えを予定している。。

DL=0.000

NO. 3
GH=8.10
FH=8.060



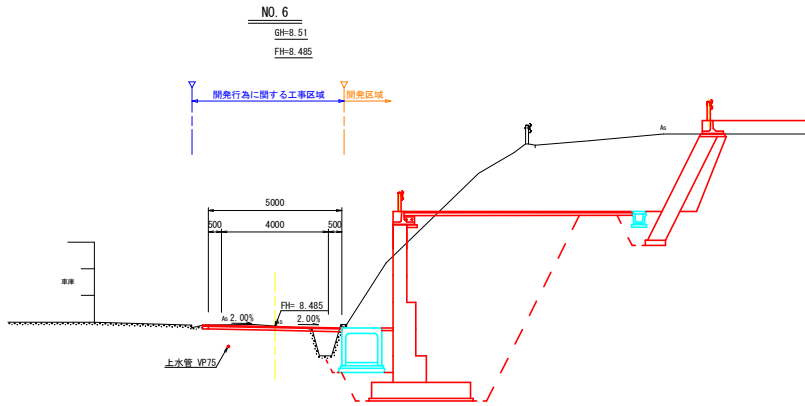
※上水管は施工前または施工に合わせ別工事で支障とならない位置へ敷設替えを予定している。。

DL=0.000

須 崎 市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事		
図面名称	既存道路横断図(1/3)	縮尺	S=1:100
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計		
事務所名	須崎市 建設課	図面 番号	19 102
設計者名			

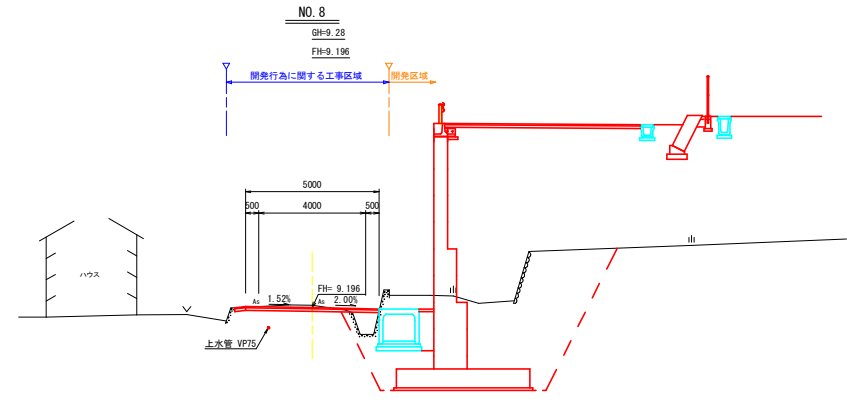
既存道路横断図 (2/3)

S=1:100



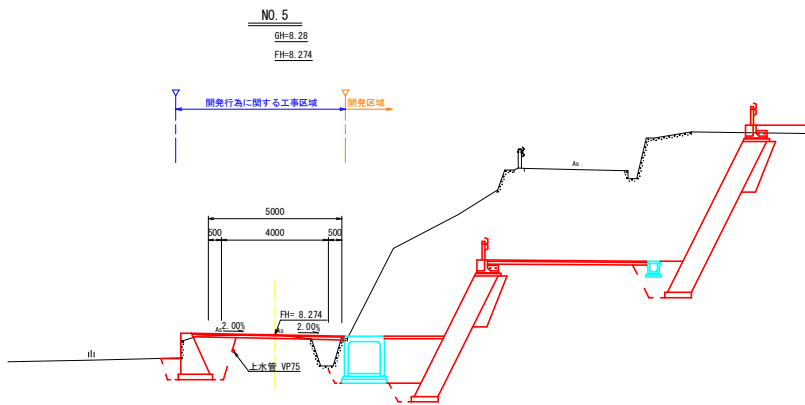
※上水管は施工前または施工に合わせて別工事で支障とならない位置へ敷設替えを予定している。。

DL=0.000



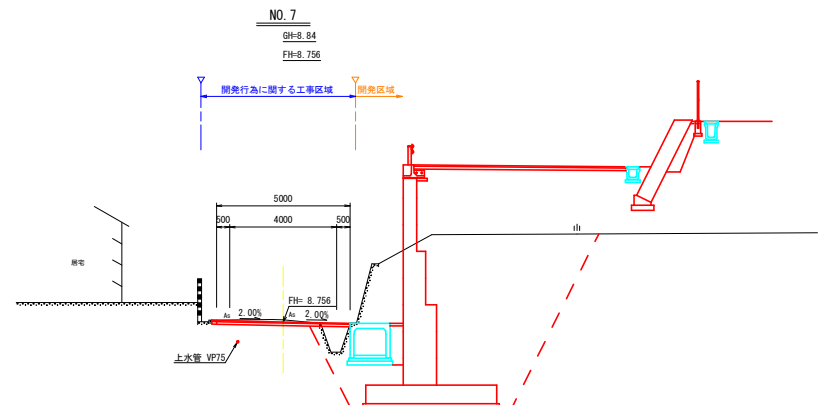
※上水管は施工前または施工に合わせて別工事で支障とならない位置へ敷設替えを予定している。。

DL=0.000



※上水管は施工前または施工に合わせて別工事で支障とならない位置へ敷設替えを予定している。。

DL=0.000



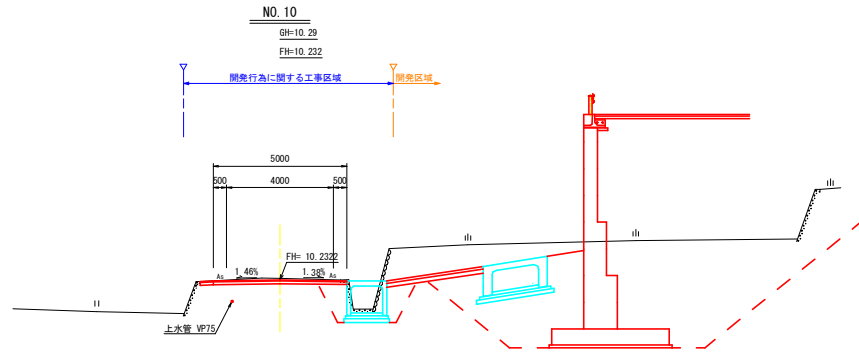
※上水管は施工前または施工に合わせて別工事で支障とならない位置へ敷設替えを予定している。。

DL=0.000

須 崎 市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地 (仮称) 造成工事		
図面名称	既存道路横断図 (2/3)	縮尺	S=1:100
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ郷甲		
設計種別	実施設計		
事務所名	須崎市 建設課	図面 番号	20 102
設計者名			

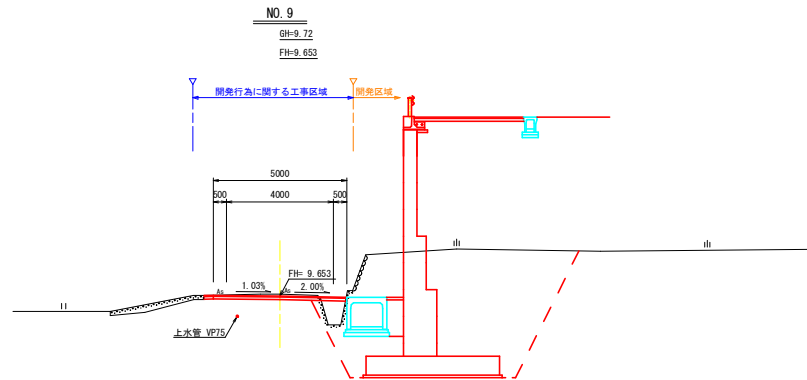
既存道路横断図 (3/3)

S=1:100



※上水管は施工前または施工に合わせ別工事で支障とならない位置へ敷設替えを予定している。。

DL=0.000



※上水管は施工前または施工に合わせ別工事で支障とならない位置へ敷設替えを予定している。。

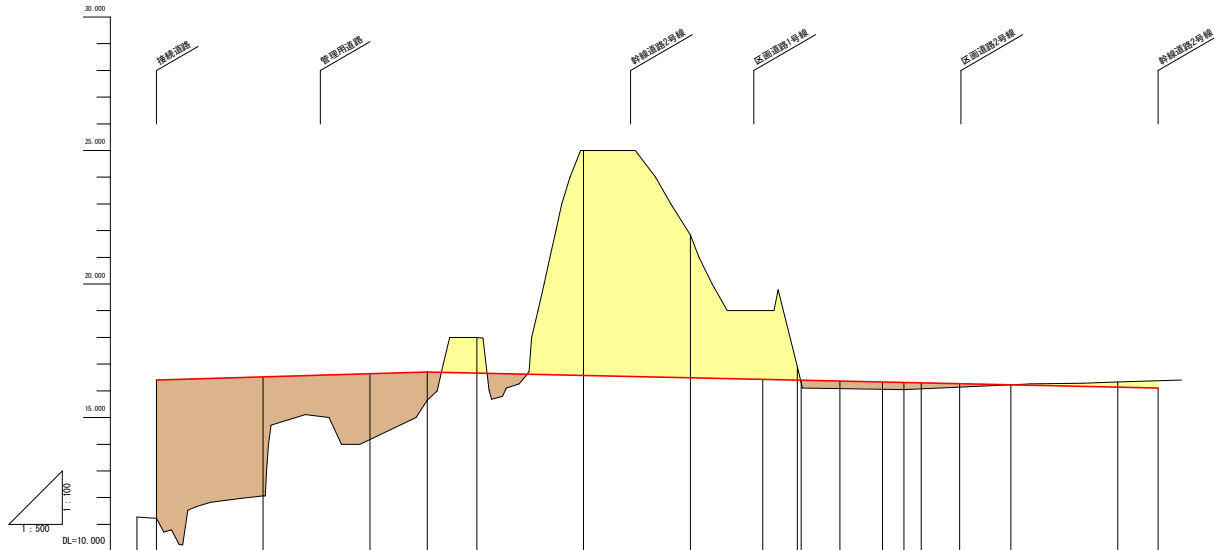
DL=0.000

須 崎 市			
工事種別	令和8年度 須崎 第8-26-1号 新東川内留地（仮称）造成工事		
図面名称	既存道路横断図 (3/3)	縮尺	S=1:100
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計		
事務所名	須崎市 建設課	図面 番号	21 102
設計者名			

道路縦断面図(1/4)

V=1:100
H=1:500

幹線道路1号線



勾配																						
計画高	16.400	16.518	16.637	16.700	16.659	16.572	16.484	16.425	16.303	16.261	16.221	16.133	16.100									
地盤高	11.27	11.27	12.09	14.18	15.65	18.00	24.09	21.84	16.91	16.09	16.22	16.33										
切土高					1.341	8.428	5.356	0.514				0.197										
盛土高	5.130	4.468	2.457	1.050							0.001											
追加距離	-3.617	0.000	20.000	40.000	50.739	60.000	80.000	100.000	113.515	123.000	136.624	150.424	160.000	167.564								
単距離	0.000	3.617	20.000	20.000	10.739	9.262	20.000	20.000	13.515	6.985	7.242	7.899	9.576	20.000	7.562							
測点番号	MRBP		NO.1		NO.2		MR1P1		NO.3		NO.4		NO.5	BC.2	NO.6	NO.7	EC.2	BC.3	NO.8	NO.9	MR1P2	
平面線形図																						
片勾配図																						

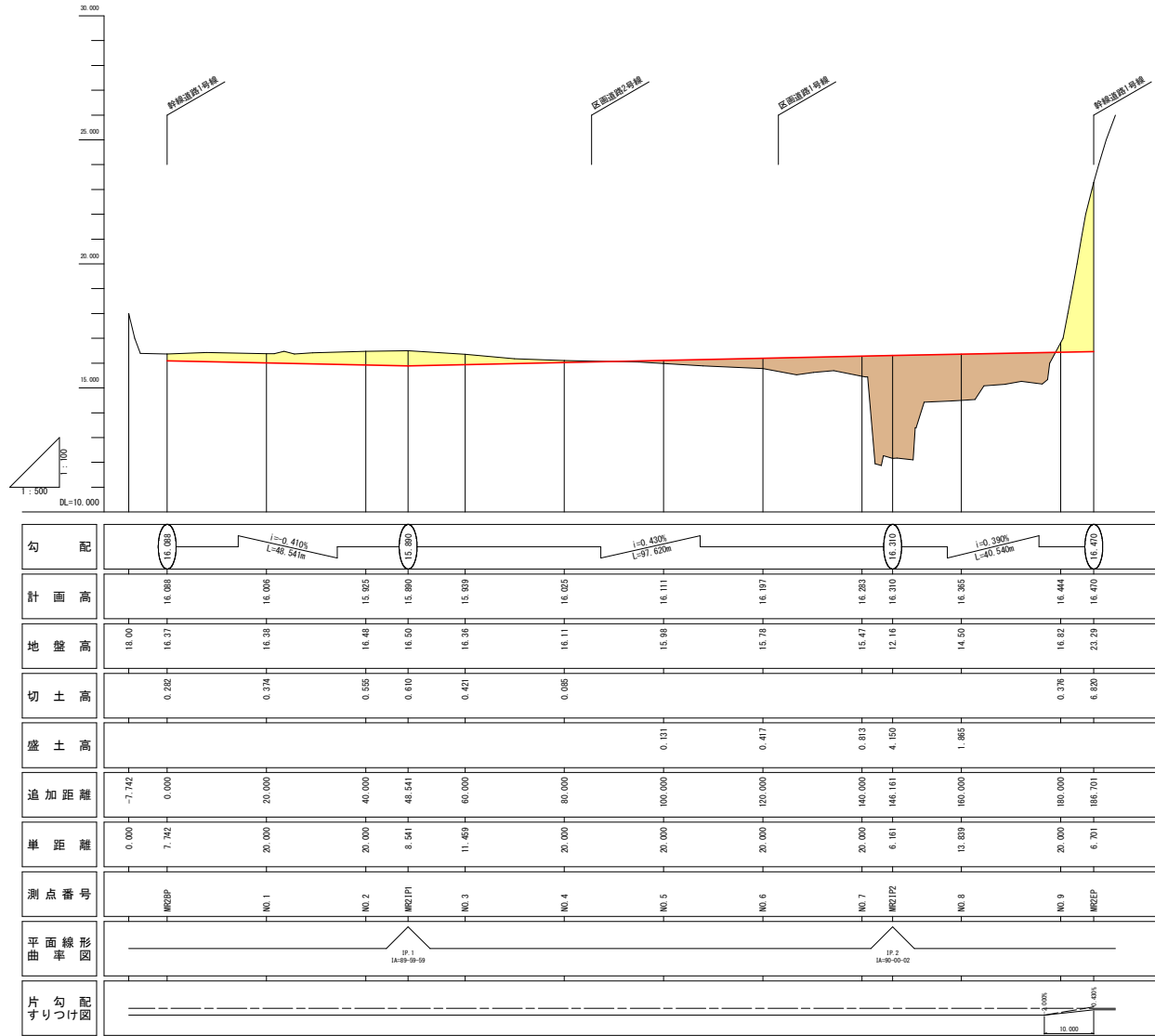
凡例	
	切土
	盛土

須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	V=1:100 H=1:500
図面名称	道路縦断面図(1/4)	縮尺	
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計	図面番号	22 102
事務所名	須崎市 建設課	設計者名	

道路縦断図(2/4)

V=1:100
H=1:500

幹線道路2号線



凡例	
	切土
	盛土

須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	V=1:100 H=1:500
図面名称	道路縦断図(2/4)	縮尺	
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計	図面番号	23 102
事務所名	須崎市 建設課	設計者名	

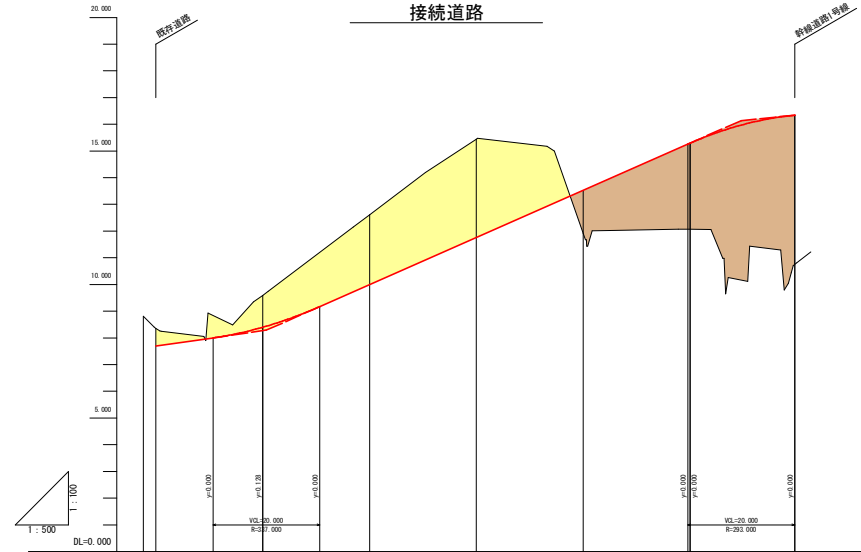
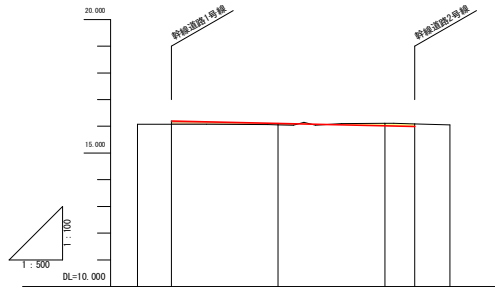
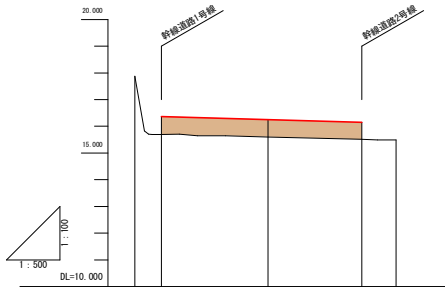
道路縦断図(3/4)

V=1:100
H=1:500

区画道路1号線

区画道路2号線

接続道路



勾配		
計画高	16.370	16.150
地盤高	17.87 15.60	15.60 15.51 15.40
切土高		
盛土高	0.680	0.640
追加距離	-4.984 0.000	20.000 37.540 43.560
単距離	0.000 4.984	20.000 17.540 6.410
測点番号	1B1P No. 1	1B1P
平面線形図	—	
片勾配図		

勾配		
計画高	16.200	15.990
地盤高	16.00 16.00	16.11 16.00 16.00
切土高		0.094 0.100
盛土高	0.120	0.058
追加距離	-6.354 0.000	20.000 40.000 45.540 52.160
単距離	0.000 6.354	20.000 20.000 5.540 6.626
測点番号	1B2P No. 1	1B2P No. 2
平面線形図	—	
片勾配図		

勾配		
計画高	7.690	15.293
地盤高	8.81 8.30	9.50 12.61 15.44 11.91
切土高	0.610	1.182 2.615 3.679
盛土高		1.617 3.223
追加距離	-2.354 0.000	20.000 40.000 60.000 80.000 100.000 119.500
単距離	0.000 2.354	20.000 20.000 20.000 20.000 20.000 19.500
測点番号	2B1P 2B0.1	2B0.2 2B0.3 2B0.4 2B0.5
平面線形図	—	
片勾配図		

凡例	
	切土
	盛土

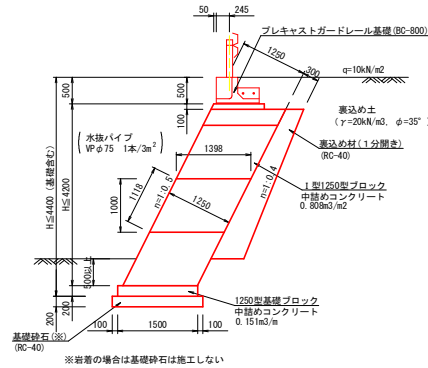
須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	V=1:100 H=1:500
図面名称	道路縦断図(3/4)	図面番号	24 102
路線河川名	—		
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計	—	
事務所名	須崎市 建設課	—	
設計者名	—		

擁壁工構造図(その1)

(参考図)

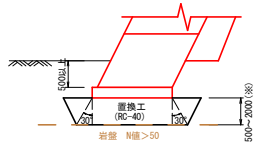
1号大型ブロック積擁壁

S=1:50



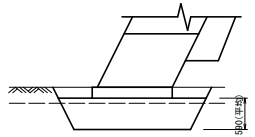
※岩着の場合は基礎砕石は施工しない

支持力が不足する場合



※支持力が不足する場合は、良質な支持層に到達するまで置換工とする。

土工図



作業土工 (置換工平均H=0.59m)
14K 1.2
置換工 1.5
L=7.5m

※表土はぎとり(30cm)は「造成横断面」にて数量算出

設計条件

項目	記号	単位	常時	地震時
擁壁高	H	m	≤4.400	
上載荷重	q	kN/m ²	10.0	—
コンクリート単位体積重量	γc	kN/m ³	23.00	
裏込土せん断抵抗係	φ		35.00	
裏込土単位体積重量	γs	kN/m ³	20.00	
滑動摩擦係数	μ	—	0.600	
許容支持力	qa	kN/m ²	300	900
地盤反力度	q	kN/m ²	119.13	91.02

安全条件

滑動に対する検討	滑動安全率	3.53 ≥ 1.50	
		1.04 ≥ 1.00	
転倒に対する検討	合力の作用位置	7.05 ≥ 1.50	
		1.73 ≥ 1.00	
支持に対する検討	最大地盤反力度	119.13 ≤ 300 (kN/m ²)	
		91.02 ≤ 900 (kN/m ²)	

※上段：常時

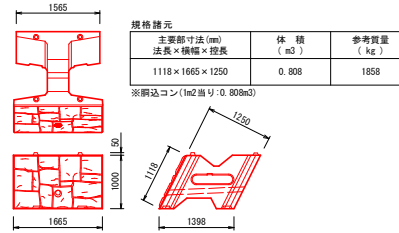
※下段：地震時

大型ブロック積擁壁特記事項

- ※基礎ブロックの筋込めコンは、必ず上のブロックの筋込めコンと同時に打設すること。
- ※筋込めコンクリートは1段ごとに打設し、ブロック高さの1/2~2/3で止めること。
- ※標準型(A型)には水抜パイプ(φ75)が内蔵されている。湧水箇所等では適切に水抜き処理をすること。
- ※標準型(A型)1個の面積は、1.361m²とする。
- ※基礎砕石は必要に応じて施工すること。
- ※基礎ブロックと1段目のブロックの筋込めコンは、同時に打設すること。
- ※施工時に平板載荷試験を行い、所定の支持力度が確保されているか確認を行うこと。

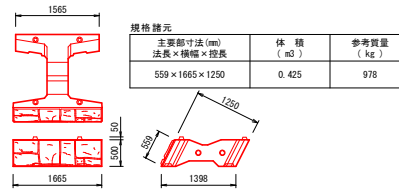
1250型A形(基本形)

S=1:50



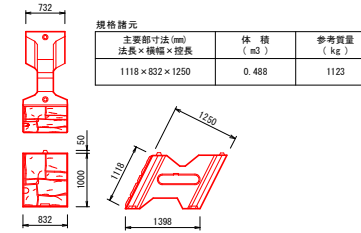
1250型C形(横半形)

S=1:50



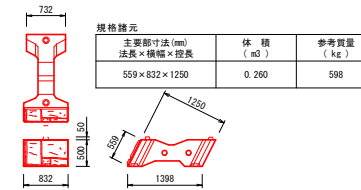
1250型B形(縦半形)

S=1:50



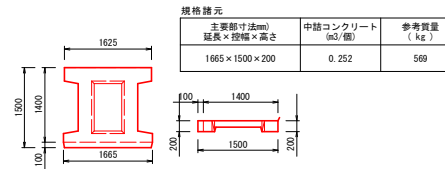
1250型D形(1/4形)

S=1:50



I型1250型基礎ブロック(土砂用)

S=1:20

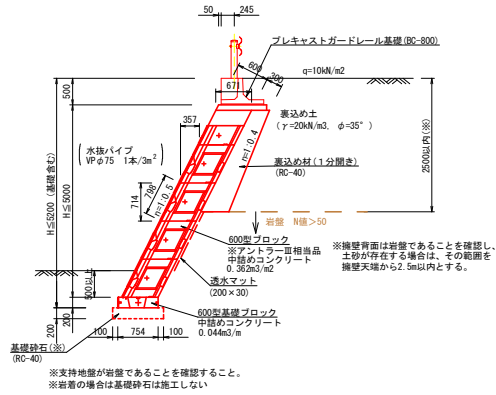


須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	S=1:50
図面名称	擁壁工構造図(その1)	縮尺	S=1:50
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計	図面番号	26 102
事務所名	須崎市 建設課	図面番号	26 102
設計者名			

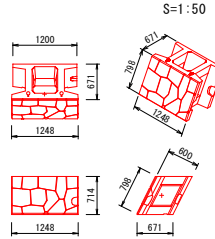
擁壁工構造図(その2)

(参考図)

2号大型ブロック積擁壁 S=1:50

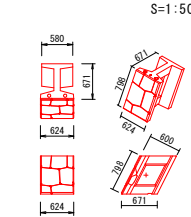


600型-A



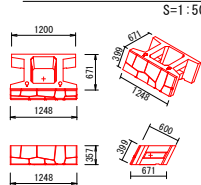
規格	S L × 幅 × 控長 mm	参考質量 kg	フック m ²	胴込量 m ³ /m ²
600型-A	800 × 1250 × 600	581	1.000	0.362

600型-B



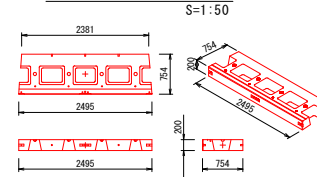
規格	S L × 幅 × 控長 mm	参考質量 kg	フック m ²	胴込量 m ³ /m ²
600型-B	800 × 625 × 600	280	0.500	0.362

600型-C



規格	S L × 幅 × 控長 mm	参考質量 kg	フック m ²	胴込量 m ³ /m ²
600型-C	400 × 1250 × 600	317	0.500	0.362

基礎ブロック



規格	主要部寸法(mm) 延長 × 控幅 × 高さ	参考質量 (kg)	胴込量 (個当り)
5分基礎	L2500 × W754 × H200	625	0.109

※参考質量・胴込量は標準タイプ(L=2.0m)
※支持地盤が岩盤であることを確認すること。

設計条件

項目	記号	単位	常時	地震時
擁壁高	H	m	≤ 5.200	—
上載荷重	q	kN/m ²	10.0	—
コンクリート単位体積重量	γc	kN/m ³	23.00	—
せん断抵抗角	φ	°	35.00	—
裏込土単位体積重量	γs	kN/m ³	20.00	—
滑動摩擦係数	μ	—	0.600	—
許容支持力	qa	kN/m ²	300	900
地盤反力度	q	kN/m ²	119.13	119.13

安全条件

滑動に対する検討	滑動安全率	5.79 ≥ 1.50
		1.45 ≥ 1.00
転倒に対する検討	合力の作用位置	4.36 ≥ 1.50
		1.29 ≥ 1.00
支持に対する検討	最大地盤反力度	136.46 ≤ 300 (kN/m ²)
		122.79 ≤ 900 (kN/m ²)

※上段: 常時

※下段: 地震時

大型ブロック積擁壁特記事項
 ※基礎は前面が洗濯されず滑動しないように施工すること。
 ※目地は基本的には10m以内に設置すること。
 ※胴込めコンクリートは1段ごとに打設し、ブロック高さの1/2~2/3で止めること。
 ※水抜きは標準で3m²に1ヶ所とし、湧水箇所等では適切に水抜き処理をすること。
 ※標準型(A型)1個の面積は、1.0m²である。
 ※1m²当りの胴込めコンは、0.36m³である。
 ※基礎砕石は必要に応じて施工すること。
 ※施工時に平板載荷試験を行い、所定の支持力が確保されているか確認を行うこと。

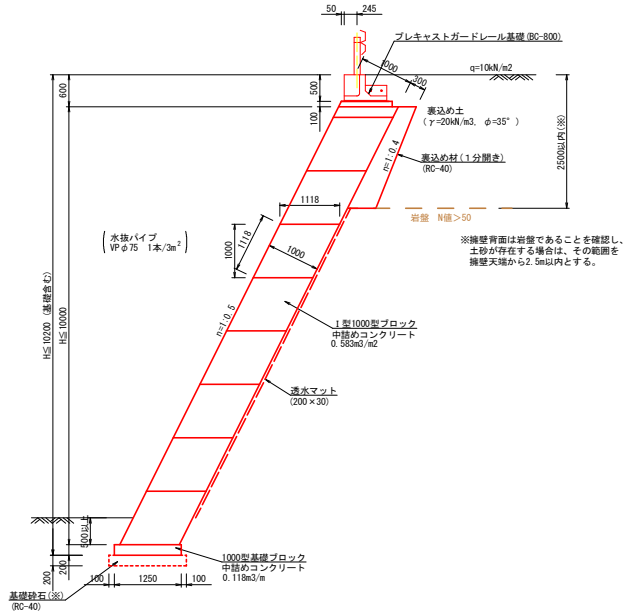
胴付けは800×1250×600で行う

須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事		
図面名称	擁壁工構造図(その2)	縮尺	S=1:50
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計	図面番号	27
事務所名	須崎市 建設課	設計番号	102

擁壁工構造図(その4)

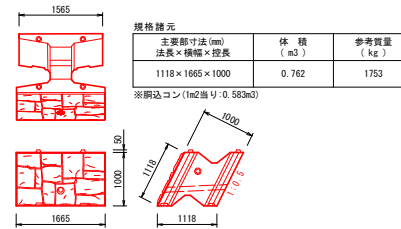
(参考図)

4号大型ブロック積擁壁 S=1:50

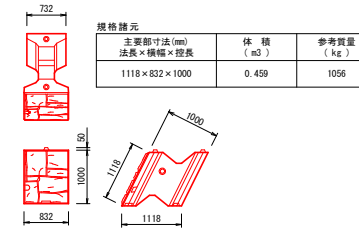


※支持地盤が岩盤であることを確認すること。
※岩盤の場合は基礎砕石は施工しない。

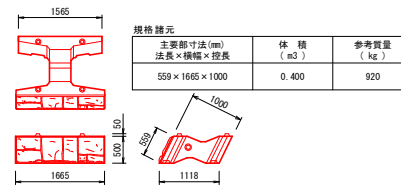
1000型A形(基本形) S=1:20



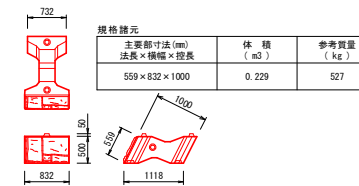
1000型B形(縦半形) S=1:20



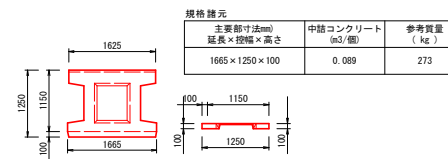
1000型C形(横半形) S=1:20



1000型D形(1/4形) S=1:20



I型1000型基礎ブロック(岩着用) ※底フラットタイプ S=1:20



※支持地盤が岩盤であることを確認すること。

設計条件

項目	記号	単位	常時	地震時
擁壁高	H	m	≤ 10.200	—
上載荷重	q	KN/m²	10.0	—
コンクリート	単位体積重量	γc	23.00	—
	せん断抵抗角	φ	—	35.00
裏込土	単位体積重量	γs	20.00	—
	滑動摩擦係数	μ	—	0.600
許容支持力	qa	KN/m²	200	900
地盤反力度	q	KN/m²	261.08	265.78

安全条件

滑動に対する検討	滑動安全率	16.79 ≥ 1.50 2.08 ≥ 1.00
転倒に対する検討	合力の作用位置	10.13 ≥ 1.50 1.85 ≥ 1.00
支持に対する検討	最大地盤反力度	261.08 ≤ 300 (kN/m²) 265.78 ≤ 900 (kN/m²)

※上段: 常時
※下段: 地震時

大型ブロック積擁壁特記事項

- ※基礎ブロックの網込コンは、必ず上のブロックの網込コンと同時に打設すること。
- ※網込コンは1段ごとに打設し、ブロック高さの1/2~2/3で止めること。
- ※標準型(A型)には水抜パイプ(φ75)が内蔵されている。湧水箇所等では適切に水抜き処理をすること。
- ※標準型(A型)1個の面積は、1.861m²とする。
- ※基礎砕石は必要に応じて施工すること。
- ※基礎ブロックと1段目のブロックの網込コンは、同時に打設すること。
- ※施工時に平板載荷試験を行い、所定の支持力が確保されているか確認を行うこと。

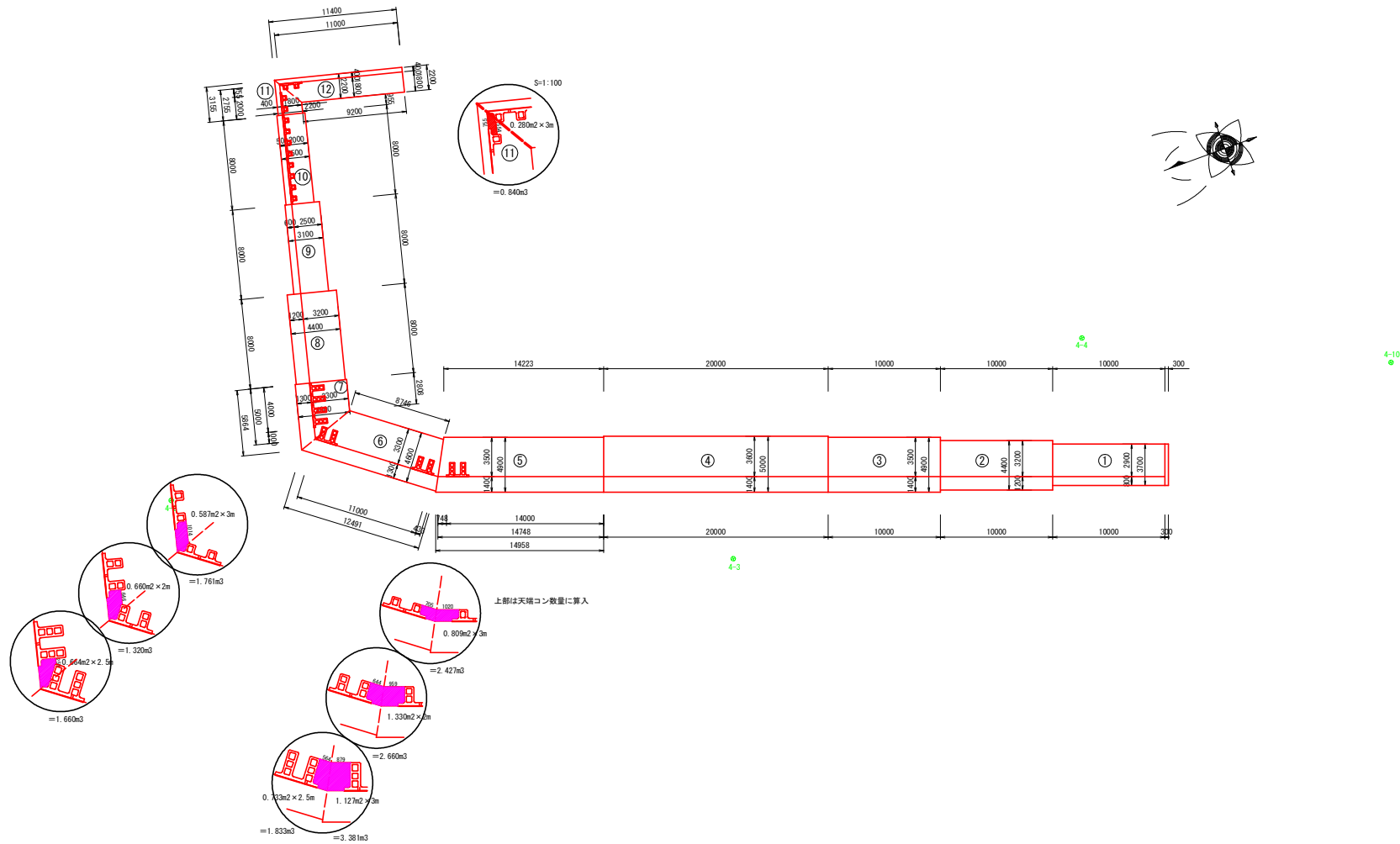
須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	S=1:50
図面名称	擁壁工構造図(その4)	縮尺	S=1:50
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計	図面番号	29 102
事務所名	須崎市 建設課	図面番号	29 102
設計者名			

擁壁工構造図(その5)

(参考図)

S=1:200

片持ち式擁壁(逆T型) 基礎平面図



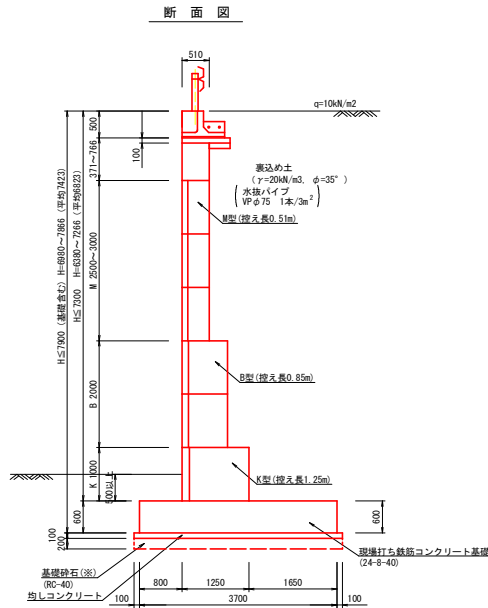
須 崎 市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	S=1:200
図面名称	擁壁工構造図(その5)	縮尺	S=1:200
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計	図面 番号	30 102
事務所名	須崎市 建設課	設計者名	

擁壁工構造図(その6)

(参考図)

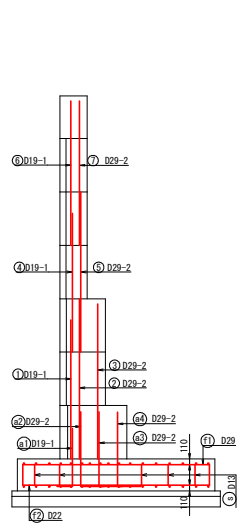
①片持ばり式擁壁(逆T型)

S=1:50

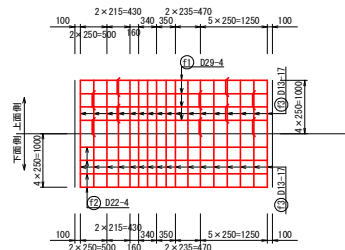
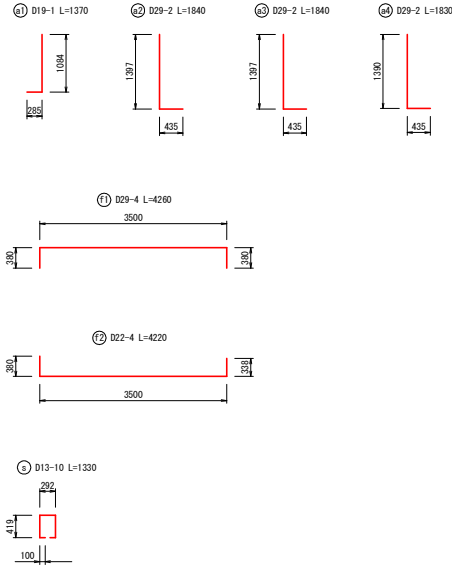


※岩層の場合は必要に応じて基礎砕石を施工する

断面図



鉄筋加工図



設計条件

項目	記号	単位	常時	地震時
擁壁高	H	m	≤ 7.900	—
上載荷重	q	kN/m ²	10.0	—
コンクリート単位体積重量	底版	γc	24.00	—
	天端	γc	23.00	—
裏込土	せん断摩擦角	φ	35.00	—
	単位体積重量	γs	20.00	—
滑動摩擦係数	μ	—	0.600	—
許容支持力	qa	kN/m ²	300	900
地盤反力度	q	kN/m ²	282.75	829.53

安全条件

滑動に対する検討	滑動安全率	値
滑動に対する検討	滑動安全率	1.54 ≥ 1.50
転倒に対する検討	合力の作用位置	1.04 ≥ 1.00
転倒に対する検討	合力の作用位置	2.12 ≥ 1.50
転倒に対する検討	合力の作用位置	1.22 ≥ 1.00
支持に対する検討	最大地盤反力度	282.75 ≤ 300 (kN/m ²)
支持に対する検討	最大地盤反力度	829.53 ≤ 900 (kN/m ²)

※上段: 常時
※下段: 地震時

※裏込め土は、雑質土(γ=20kN/m³, φ=35°)以上となる材料を使用すること。
※埋入れ深さは、50cm以上かつ前面水圧差より30cm以上とすること。
※施工時に平面載荷試験を行い、用定の支持力度が確保されているか確認を行うこと。

設計条件

項目	単位	常時	異常時
設計基準強度		24	
基礎コンクリート	設計基準強度	24	
	許容曲げ圧縮応力度	8.0	24.0
	許容せん断応力度	0.73	1.10
鉄筋 SD295	許容引張応力度	195	295
	単位体積重量	20.00	
裏込め土	単位体積重量	基礎	24.00
	コンクリート	天端	23.00
裏込め土の内部摩擦角	度	35.00	
地表面載荷重	kN/m ²	10.0	
設計水平震度		0.23	

控え鉄筋表

符号	径	一本の長さ (m)	単位重量 (kg/m)	一本の重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	備考
1.4	D19	2.600	2.250	5.850	2	11.700	
2.5	D29	3.000	5.040	15.120	4	60.480	
3	D29	2.900	5.040	14.616	2	29.232	
6	D19	2.223	2.250	5.002	1	5.002	平均長
7	D29	2.223	5.040	11.204	2	22.408	平均長
				D13以下	0.000		kg
				D16~D25	16.702		kg
				D29以上	112.120		kg
				合計	128.822		kg

基礎工鉄筋表 (1m当たり)

符号	径	一本の長さ (m)	単位重量 (kg/m)	一本の重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	備考
a1	D19	1.370	2.250	3.083	1	3.083	↓
a2	D29	1.840	5.040	9.274	2	18.548	↓
a3	D29	1.840	5.040	9.274	2	18.548	↓
a4	D29	1.830	5.040	9.223	2	18.446	↓
f1	D29	4.260	5.040	21.470	4	85.880	↑
f2	D22	4.220	3.040	12.829	4	51.316	↑
f3	D13	1.000	0.995	0.995	34	33.830	↑
s	D13	1.330	0.995	1.323	10	13.230	↑
				D13以下	47.060		kg
				D16~D25	54.399		kg
				D29以上	141.422		kg
				合計	242.881		kg

材料表 (1m当たり)

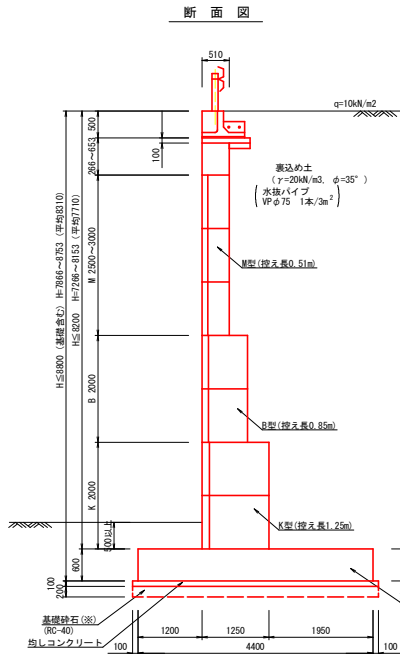
名称	単位	数量	備考
基礎コンクリート	m ³	2.220	ack = 24 N/mm ²
基礎コンクリート型枠	m ²	1.200	
均しコンクリート	m ³	0.100 × 3.900 = 0.390	
均しコンクリート型枠	m ²	0.200	
天端コンクリート	m ³	0.190	ack = 18 N/mm ² 平均
天端コンクリート型枠	m ²	0.743	平均
基礎材	m ³	3.900	t=20cm 0.780 m ²
充填材	m ³	0.814	ack = 30 N/mm ²

須崎市			
工事種別	令和8年度 須崎 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	S=1:50
図面名称	擁壁工構造図(その6)	縮尺	S=1:50
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計	図面番号	31
事務所名	須崎市 建設課	図面番号	102
設計者名			

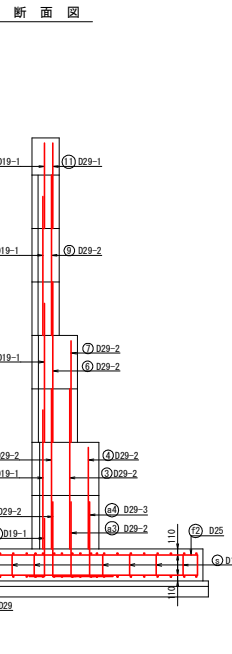
擁壁工構造図(その7)

(参考図)

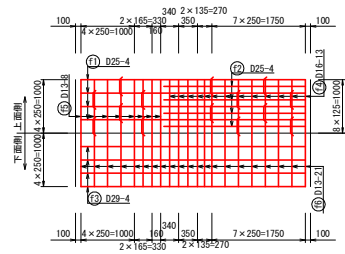
② 片持ばり式擁壁(逆T型) S=1:50



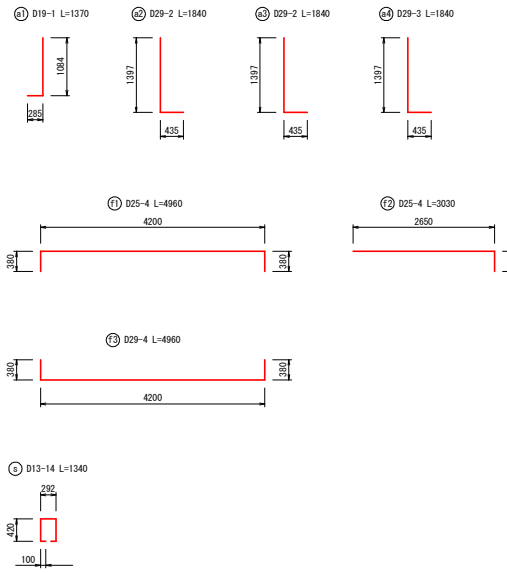
※岩着の場合は必要に応じて基礎砕石を施工する



底版



鉄筋加工図



設計条件

項目	記号	単位	常時	地震時
擁壁高	H	m	≤ 6.600	
上載荷重	q	KN/m ²	10.0	—
コンクリート	底版	γc	KN/m ³	24.00
	天端	γc	KN/m ³	23.00
裏込土	せん断抵抗角	φ	°	35.00
	単位体積重量	γs	KN/m ³	20.00
滑動摩擦係数	μ	—	0.600	
許容支持力	qa	KN/m ²	300	900
地盤反力度	q	KN/m ²	254.87	562.43

安全条件

滑動に対する検討	滑動安全率	1.55 ≥ 1.50
転倒に対する検討	合力の作用位置	1.04 ≥ 1.00
		2.38 ≥ 1.50
支持に対する検討	最大地盤反力度	254.87 ≤ 300 (KN/m ²)
		562.43 ≤ 900 (KN/m ²)

※上段：常時
※下段：地震時

※裏込め土は、雑質土(γ=20KN/m³, φ=35°)以上となる材料を使用すること。
※埋入れ深さは、50cm以上かつ前縁水節断面より30cm以上とすること。
※施工時に平面載荷試験を行い、予定の支持力が確保されているか確認を行うこと。

設計条件

項目	単位	常時		異常時
		許容	設計	
基礎コンクリート	N/mm ²	設計基準強度	24	
		許容曲げ応縮応力度	8.0	24.0
		許容せん断応力度	0.73	1.10
鉄筋 SD295	N/mm ²	許容引張応力度	195	295
		裏込め土		20.00
単位体積重量	KN/m ³	基礎	24.00	天端 23.00
		コンクリート		
裏込め土の内部摩擦角	度		35.00	
地表面載荷重	KN/m ²		10.0	
設計水平震度			0.23	

控え鉄筋表 (1m当たり)

符号	径	一本の長さ (m)	単位重量 (kg/m)	一本の重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	備考
1.5	D19	2.600	2.250	5.850	3	17.550	
2.3	D29	3.000	5.040	15.120	8	120.960	
4.7	D29	1.900	5.040	9.576	4	38.304	
10	D19	1.100	2.250	2.498	1	2.498	平均長
11	D29	1.100	5.040	5.594	1	5.594	平均長
						D13 以下	0.000 kg
						D16 ~ D25	20.048 kg
						D29 以上	164.858 kg
						合計	184.906 kg

基礎工鉄筋表 (1m当たり)

符号	径	一本の長さ (m)	単位重量 (kg/m)	一本の重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	備考
a1	D19	1.370	2.250	3.083	1	3.083	
a2	D29	1.840	5.040	9.274	2	18.548	
a3	D29	1.840	5.040	9.274	2	18.548	
a4	D29	1.840	5.040	9.274	3	27.822	
f1	D25	4.960	3.980	19.741	4	78.964	
f2	D25	3.030	3.980	12.059	4	48.236	
f3	D29	4.960	5.040	24.998	4	99.992	
f4	D16	1.000	1.560	1.560	13	20.280	
f5	D13	1.000	0.995	0.995	8	7.960	
f6	D13	1.000	0.995	0.995	21	20.895	
s	D13	1.340	0.995	1.333	14	18.662	
						D13 以下	47.517 kg
						D16 ~ D25	150.563 kg
						D29 以上	164.910 kg
						合計	362.990 kg

材料表 (1m当たり)

名称	単位	数量	備考
基礎コンクリート	m ³	2.640	ock = 24 N/mm ²
基礎型枠	m ²	1.200	
均しコンクリート	m ³	0.100 × 4.600 = 0.460	
均し型枠	m ²	0.200	
天端コンクリート	m ³	0.173	ock = 18 N/mm ² 平均
天端型枠	m ²	0.679	平均
基礎材	m ²	4.600	t=20cm 0.920 m ²
控え壁コンクリート	m ³	1.058	ock = 30 N/mm ²

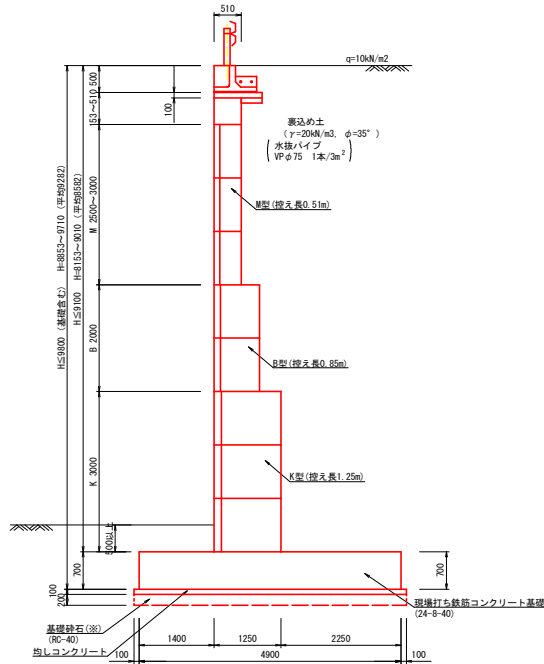
須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	S=1:50
図面名称	擁壁工構造図(その7)	縮尺	S=1:50
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計	図面番号	32
事務所名	須崎市 建設課	図面番号	102
設計者名			

擁壁工構造図(その8)

(参考図)

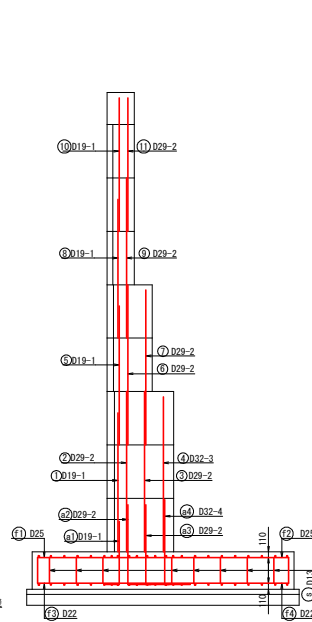
③ 片持ばり式擁壁(逆T型) S=1:50

断面図

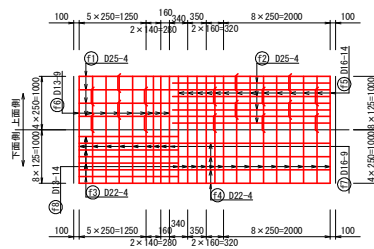


※着着の場合は必要に応じて基礎砕石を施工する

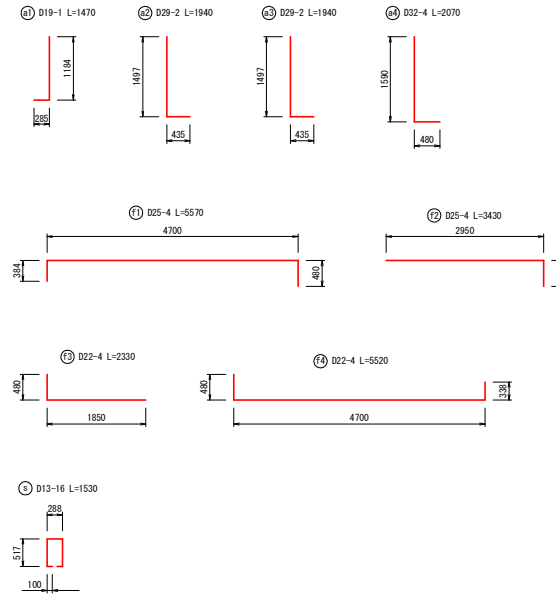
断面図



底版



鉄筋加工図



設計条件

項目	記号	単位	常時	地震時
擁壁高	H	m	≤ 9.800	
上載荷重	q	KN/m ²	10.0	-
コンクリート 単位体積重量	底版	γc	24.00	
	天端	γc	23.00	
表込め土 せん断抵抗角	φ	°	35.00	
	単位体積重量	γs	20.00	
滑動摩擦係数	μ	-	0.600	
許容支持力	qa	KN/m ²	300	900
	q	KN/m ²	276.04	607.40

安全条件

滑動に対する検討	滑動安全率	1.54 ≥ 1.50
転倒に対する検討	合力の作用位置	1.03 ≥ 1.00
		2.39 ≥ 1.50
支持に対する検討	最大地盤反力度	276.04 ≤ 300 (KN/m ²)
		607.40 ≤ 900 (KN/m ²)

※上段：常時
※下段：地震時

※表込め土は、確實土(γ=20KN/m³, φ=35°)以上となる材料を使用すること。

※埋入れ深さは、50cm以上かつ前面水節断面より30cm以上とすること。

※施工時に平板載荷試験を行い、用定の支持力度が確保されているか確認を行うこと。

設計条件

項目	単位	常時	地震時
基礎コンクリート	設計基準強度	24	
	許容曲げ圧縮応力度	8.0	24.0
	許容せん断応力度	0.73	1.10
鉄筋 S295	許容引張応力度	195	295
	表込め土	20.00	
単位体積重量	コンクリート	基礎	24.00
		天端	23.00
表込め土の内部摩擦角	度	35.00	
地表面載荷重	KN/m ²	10.0	
設計水平震度		0.23	

掘え壁鉄筋表(1m当たり)

符号	径	一本の長さ (m)	単位重量 (kg/m)	一本の重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	備考
1, 5	D19	2.600	2.250	5.850	3	17.550	
2, 3	D29	3.000	5.040	15.120	8	120.960	
4	D32	2.900	6.230	18.067	3	54.201	
7	D29	2.900	5.040	14.616	2	29.232	
10	D19	1.982	2.250	4.460	1	4.460	平均長
11	D29	1.982	5.040	9.989	1	9.989	平均長
						D13 以下	0.000 kg
						D16 ~ D25	22.010 kg
						D29 以上	214.382 kg
						合計	236.392 kg

基礎工鉄筋表(1m当たり)

符号	径	一本の長さ (m)	単位重量 (kg/m)	一本の重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	備考
a1	D19	1.470	2.250	3.308	1	3.308	
a2	D29	1.940	5.040	9.778	2	19.556	
a3	D29	1.940	5.040	9.778	2	19.556	
a4	D32	2.070	6.230	12.896	4	51.584	
f1	D25	5.570	3.980	22.169	4	88.676	
f2	D25	3.430	3.980	13.651	4	54.604	
f3	D22	2.330	3.040	7.083	4	28.332	
f4	D22	5.520	3.040	16.781	4	67.124	
f5	D16	1.000	1.560	1.560	14	21.840	
f6	D13	1.000	0.995	0.995	9	8.955	
f7	D16	1.000	1.560	1.560	9	14.040	
f8	D13	1.000	0.995	0.995	14	13.930	
s	D13	1.530	0.995	1.522	16	24.352	
						D13 以下	47.237 kg
						D16 ~ D25	277.924 kg
						D29 以上	90.696 kg
						合計	415.857 kg

材料表(1m当たり)

名称	単位	数量	備考
基礎コンクリート	m ³	3.430	ack = 24 N/mm ²
基礎型枠	m ²	1.400	
均しコンクリート	m ³	0.100 × 5.100 = 0.510	
均し型枠	m ²	0.200	
天端コンクリート	m ³	0.123	ack = 18 N/mm ² 平均
天端型枠	m ²	0.482	平均
基礎材	m ²	5.100	t=20cm 1.020 m ²
掘え壁コンクリート	m ³	1.302	ack = 30 N/mm ²

須崎市			
工事種別	令和8年度 須崎 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	S=1:50
図面名称	擁壁工構造図(その8)	縮尺	S=1:50
路線河川名			
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計	図面番号	33
事務所名	須崎市 建設課	図面番号	102
設計者名			

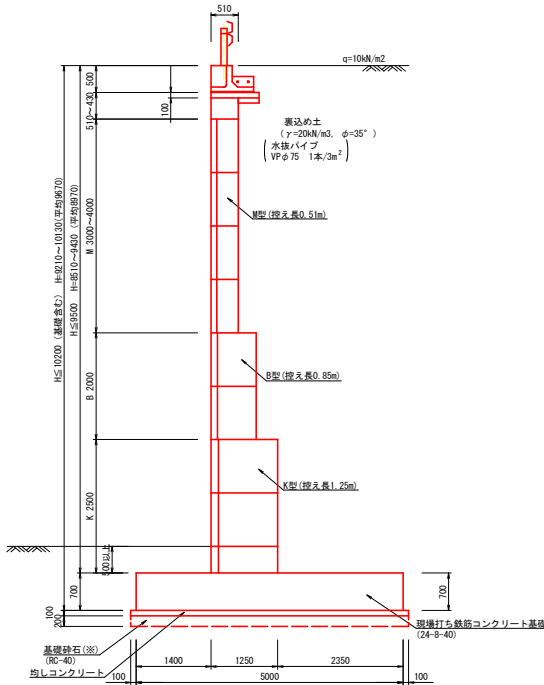
擁壁工構造図(その9)

(参考図)

④ 片持ばり式擁壁(逆T型)

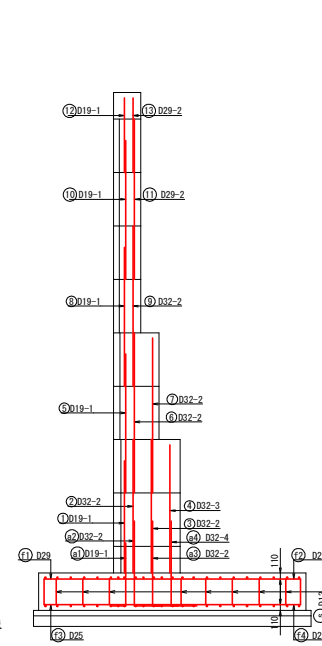
S=1:50

断面図

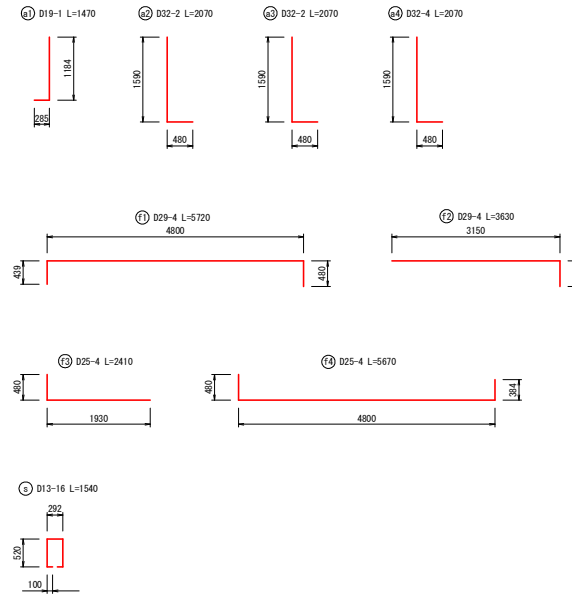


※岩層の場合は必要に応じて基礎砕石を施工する

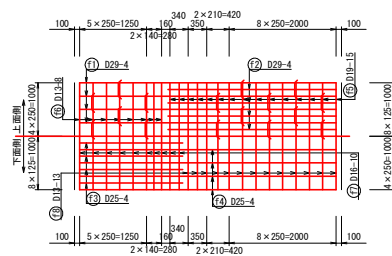
断面図



鉄筋加工図



底版



設計条件

項目	記号	単位	常時	地震時
擁壁高	H	m	9.800	≤ 9.800
上載荷重	q	kN/m ²	10.0	-
コンクリート	底版	γc	24.00	24.00
	天端	γc	23.00	23.00
表込め土	せん断抵抗角	φ	35.00	35.00
	単位体積重量	γs	20.00	20.00
滑動摩擦係数	μ	-	0.600	0.600
許容支持力	qa	kN/m ²	300	900
地盤反力度	q	kN/m ²	276.04	607.40

安全条件

項目	値
滑動に対する検討	1.52 ≥ 1.50
転倒に対する検討	1.02 ≥ 1.00
転倒に対する検討	2.31 ≥ 1.50
転倒に対する検討	1.32 ≥ 1.00
支持に対する検討	297.95 ≤ 300 (kN/m ²)
支持に対する検討	699.23 ≤ 900 (kN/m ²)

※上段：常時
※下段：地震時

※表込め土は、雑質土(γ=20kN/m³, φ=35°)以上となる材料を使用すること。
※埋入深さは、50cm以上かつ前面水圧面深さより30cm以上とすること。
※施工時に平面載荷試験を行い、用定の支持力が確保されているか確認を行うこと。

設計条件

項目	単位	常時	異常時	
基礎コンクリート	設計基準強度	24		
	許容曲げ圧縮応力度	8.0	24.0	
	許容せん断応力度	0.73	1.10	
鉄筋 SD295	許容引張応力度	195	295	
	表込め土	kN/m ³	20.00	
単位体積重量	基礎	24.00	天端	23.00
	コンクリート	35.00		
表込め土の内部摩擦角	度	35.00		
地表面載荷重	kN/m ²	10.0		
設計水平震度	0.23			

控え壁鉄筋表(1m当たり)

符号	径	一本の長さ (m)	単位重量 (kg/m)	一本の重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	備考
1	D19	2.100	2.250	4.725	1	4.725	
2,3	D32	2.500	6.230	15.575	4	62.300	
4	D32	2.400	6.230	14.952	3	44.856	
5,8,10	D19	2.600	2.250	5.850	3	17.550	
6,9	D32	3.000	6.230	18.690	4	74.760	
7	D32	2.900	6.230	18.067	2	36.134	
11	D29	3.000	5.040	15.120	2	30.240	
12	D19	0.670	2.250	1.958	1	1.958	平均長
13	D29	0.670	5.040	4.385	2	8.770	平均長
					D13 以下	0.000	kg
					D16 ~ D25	24.233	kg
					D29 以上	257.060	kg
					合計	281.293	kg

基礎工鉄筋表(1m当たり)

符号	径	一本の長さ (m)	単位重量 (kg/m)	一本の重量 (kg)	本数 (本)	重量 (kg)	備考
a1	D19	1.470	2.250	3.308	1	3.308	
a2	D32	2.070	6.230	12.896	2	25.792	
a3	D32	2.070	6.230	12.896	2	25.792	
a4	D32	2.070	6.230	12.896	4	51.584	
f1	D29	5.720	5.040	28.829	4	115.316	
f2	D29	3.630	5.040	18.295	4	73.180	
f3	D25	2.410	3.980	9.592	4	38.368	
f4	D25	5.670	3.980	22.567	4	90.268	
f5	D19	1.000	2.250	2.250	15	33.750	
f6	D13	1.000	0.995	0.995	8	7.960	
f7	D16	1.000	1.560	1.560	10	15.600	
f8	D13	1.000	0.995	0.995	13	12.935	
s	D13	1.540	0.995	1.532	16	24.512	
					D13 以下	45.407	kg
					D16 ~ D25	181.294	kg
					D29 以上	291.664	kg
					合計	518.365	kg

材料表(1m当たり)

名称	単位	数量	備考
基礎コンクリート	m ³	3.500	ack = 24 N/mm ²
基礎型枠	m ²	1.400	
均しコンクリート	m ³	0.100 × 5.200 = 0.520	
均し型枠	m ²	0.200	
天端コンクリート	m ³	0.129	ack = 18 N/mm ² 平均
天端型枠	m ²	0.507	平均
基礎材	m ²	5.200	t=20cm 1.040 m ²
控え壁コンクリート	m ³	1.215	ack = 30 N/mm ²

須崎市			
工事種別	令和8年度 須建 第8-26-1号 新東川内留地(仮称) 造成工事	縮尺	S=1:50
図面名称	擁壁工構造図(その9)	縮尺	S=1:50
路線河川名	路線河川名		
工事箇所	高知県 須崎市 多ノ根甲		
設計種別	実施設計	図面番号	34
事務所名	須崎市 建設課	設計番号	102
設計者名			